



# 2025年度 決算説明会

コマツ出席者

代表取締役社長（兼）CEO

執行役員CFO

執行役員経営管理部長

今吉 琢也

細谷 浩志

菱沼 聖史

2026年4月28日（火）

# 目次

## I. 2025年度 決算の概要 <P3-P14>

- P4-P5 : 2025年度の概要
- P6-P9 : <建設機械・車両> 2025年度の状況
- P10 : <リテールファイナンス> 2025年度の状況
- P11 : <産業機械他> 2025年度の状況
- P12 : 連結貸借対照表とフリー・キャッシュ・フロー (FCF)
- P13-P14 : 中期経営計画の進捗状況

## II. 2026年度の業績見通し <P15-P33>

- P16-P18 : 2026年度の見通し
- P19-P22 : <建設機械・車両> 2026年度の見通し
- P23 : <リテールファイナンス> 2026年度の見通し
- P24 : <産業機械他> 2026年度の見通し
- P25-P29 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し (全体および地域別)
- P30-P31 : <建設機械・車両> 鉱山機械の市場動向・需要推移の見通し
- P32 : <建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高の見通し
- P33 : 設備投資・減価償却費・研究開発費・固定費の見通し

## 参考資料 <P34-P50>

- P35-P39 : 2025年度 第4四半期 (1-3月) の概要
- P40-P44 : 四半期毎の状況
- P45-P47 : <建設機械・車両> 一般建機・鉱山機械別の状況・見通し
- P48 : Komtrax 月平均稼働時間推移
- P49-P50 : BBLレシオ〔受注／売上指数 (6ヶ月) 〕

## I .2025年度 決算の概要

## 2025年度の概要

- ・売上高は、前年比+0.7%増収の4兆1,328億円。
- ・営業利益は、前年比▲13.7%減益の5,673億円。売上高営業利益率は、▲2.3ポイント低下し13.7%。
- ・純利益は、前年比▲14.4%減益の3,764億円。

金額単位：億円	2024年度 ¥152.8/USD ¥163.5/EUR ¥99.5/AUD	2025年度 ¥150.5/USD ¥173.8/EUR ¥99.2/AUD	前年比	
			増減	増減率
売上高	41,044	41,328	+284	+0.7%
セグメント利益	6,635	5,712	▲ 924	▲13.9%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 64	▲ 38	+26	-
営業利益	6,571	5,673	▲ 898	▲13.7%
売上高営業利益率	16.0%	13.7%	▲ 2.3ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 523	▲ 301	+222	-
税引前当期純利益	6,048	5,373	▲ 676	▲11.2%
当社株主に帰属する当期純利益	4,396	3,764	▲ 632	▲14.4%
ROE	14.2%	11.3%	▲2.9ポイント	
ネットD/Eレシオ	0.24	0.26	+0.02ポイント	
1株当たり配当金（円）	190円	190円	±0円	
連結配当性向	40.1%	45.9%		

## 2025年度の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年比+0.2%増収の3兆8,060億円。セグメント利益は、前年比▲18.0%減益の4,911億円。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年比+2.4%増収の1,261億円。セグメント利益は、前年比+24.4%増益の366億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年比+6.8%増収の2,388億円。セグメント利益は、前年比+38.5%増益の379億円。

金額単位：億円	2024年度		2025年度		前年比			
					増減		増減率	
売上高	41,044		41,328		+284		+0.7%	
建設機械・車両	(37,875)	37,982	(37,961)	38,060	(+86)	+78	(+0.2%)	+0.2%
リテールファイナンス	(962)	1,232	(1,005)	1,261	(+43)	+29	(+4.5%)	+2.4%
産業機械他	(2,207)	2,236	(2,361)	2,388	(+154)	+152	(+7.0%)	+6.8%
消去	▲ 407		▲ 382		+25		-	
セグメント利益	16.2%	6,635	13.8%	5,712	▲2.4ポイント	▲ 924	▲13.9%	
建設機械・車両	15.8%	5,989	12.9%	4,911	▲2.9ポイント	▲ 1,078	▲18.0%	
リテールファイナンス	23.9%	294	29.0%	366	+5.1ポイント	+72	+24.4%	
産業機械他	12.3%	274	15.9%	379	+3.6ポイント	+105	+38.5%	
消去または全社	78		55		▲ 23		-	

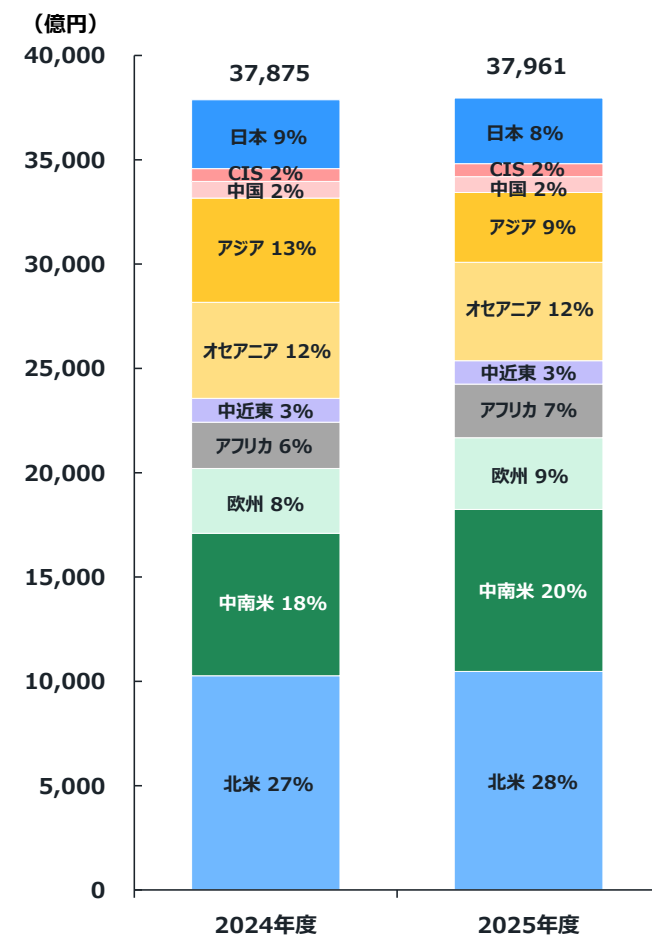
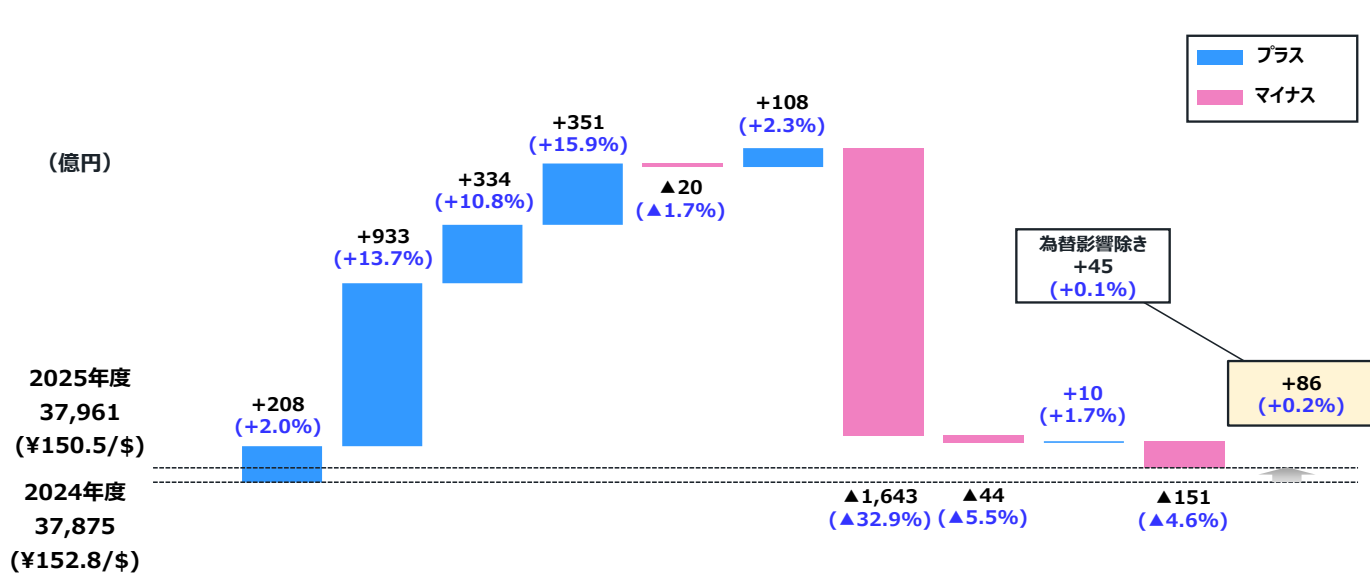
### 各セグメントの状況：

- 建設機械・車両  
売上は、販売価格改善効果が物量減のマイナス影響を上回り増収。  
利益は、販売価格の改善に努めたものの、物量減、構成差や原価差に含まれる米国関税によるコスト増のマイナス影響が上回り減益。
- リテールファイナンス  
売上は、主に債権残高の拡大により増収。利益は、主に資金調達コストの低下により増益。
- 産業機械他  
売上・利益は、自動車産業向けでは主に大型プレスの販売が増加、半導体産業向けでは利益率の高いエキシマレーザーのメンテナンス売上が増加したことにより増収増益。

□ % : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

## ＜建設機械・車両＞2025年度の地域別売上高（外部顧客向け）

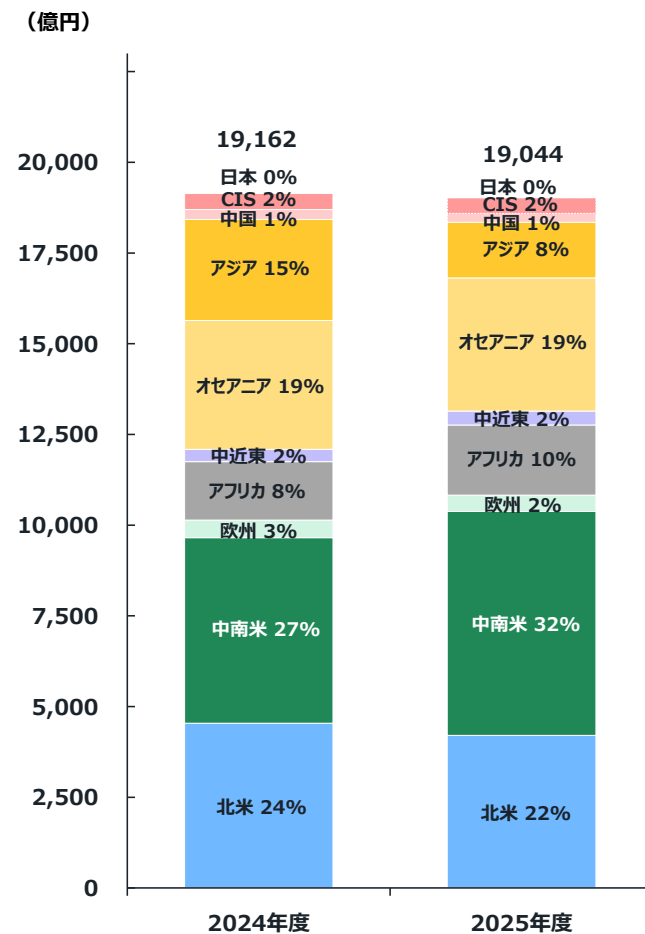
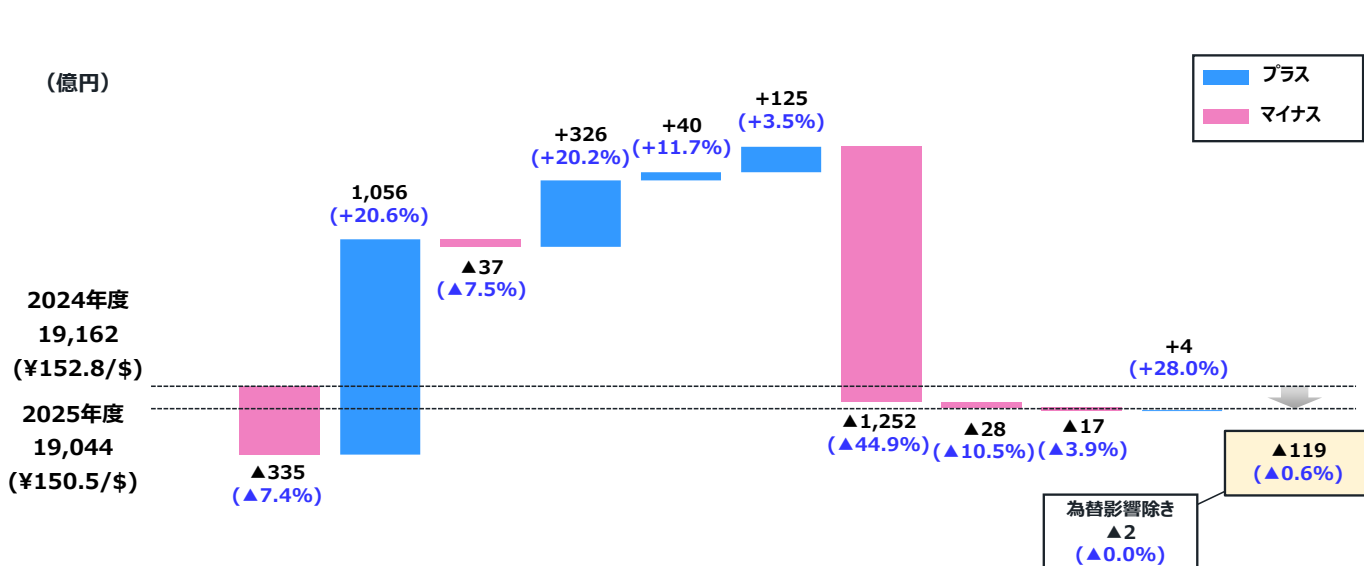
- ・外部顧客向け売上高は、前年比+0.2%増収の3兆7,961億円。
- ・アジア、日本などで減収となったものの、中南米、欧州、アフリカなどで増収となり、為替影響を除く実質ベースでは前年比+0.1%増収。



(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア			アジア	CIS	日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS			
2024年度	10,264	6,836	3,104	2,211	1,146	4,608	4,992	802	615	3,296	37,875	
2025年度	10,472	7,769	3,438	2,563	1,127	4,716	3,349	757	625	3,145	37,961	
増減	+208	+933	+334	+351	▲ 20	+108	▲ 1,643	▲ 44	+10	▲ 151	+86	
増減 (為替影響除き)	+324	+1,002	+146	+257	▲ 10	+108	▲ 1,587	▲ 42	▲ 2	▲ 151	+45	

# 〈建設機械・車両〉（鉱山機械） 2025年度の地域別売上高（外部顧客向け）

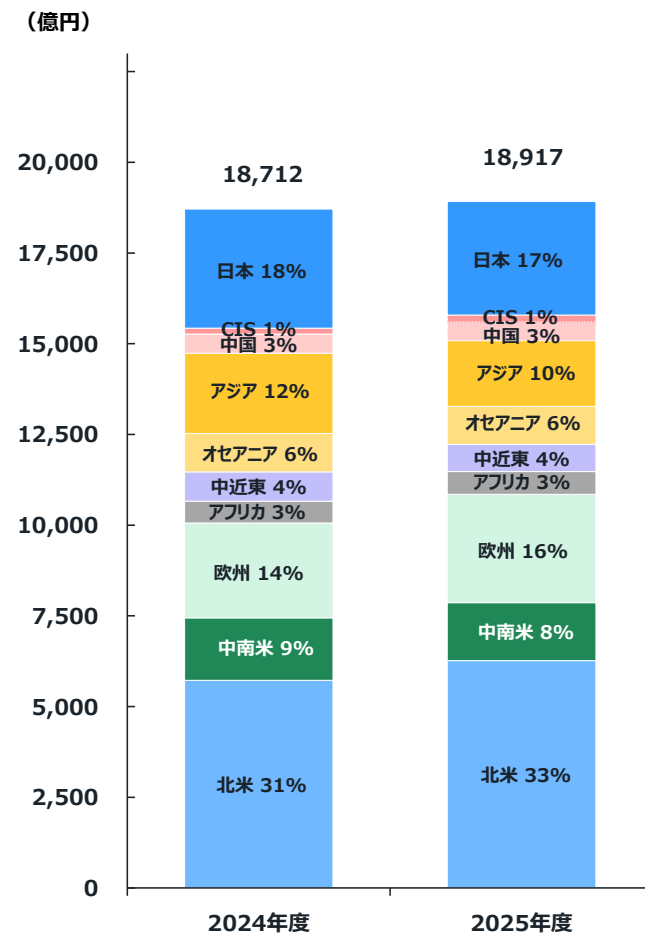
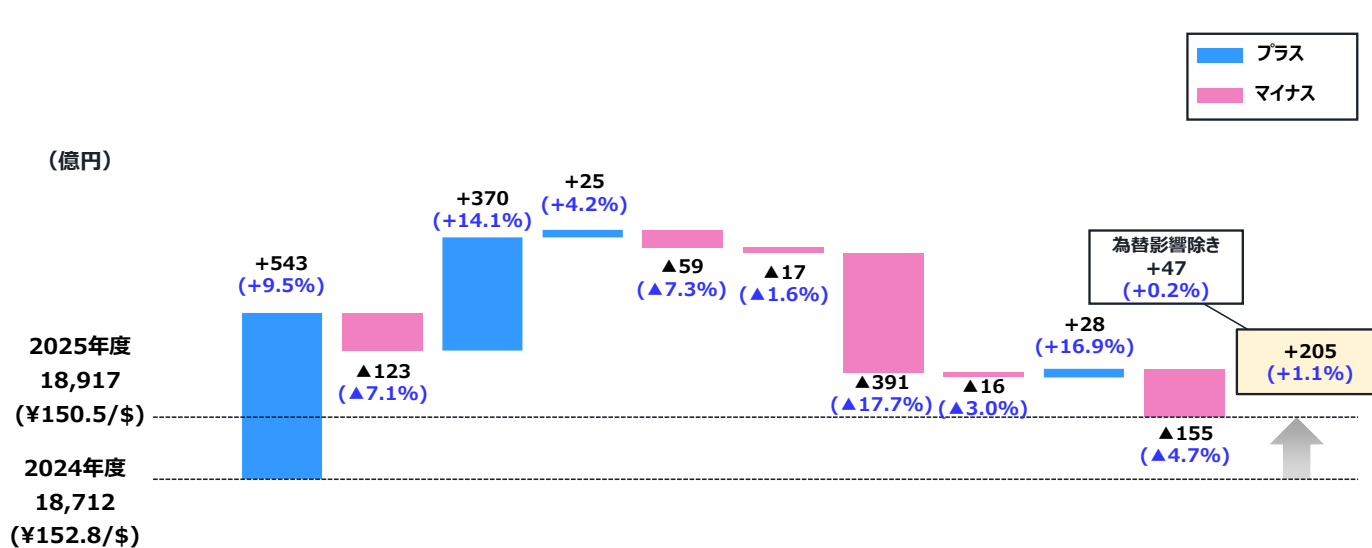
- ・外部顧客向け売上高は、前年比▲0.6%減収の1兆9,044億円。
- ・アジア、北米などで減収となったものの、中南米、アフリカ、オセアニアなどで増収となり、為替影響を除く実質ベースでは前年並み。



(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年度	4,541	5,117	485	1,610	338	3,548	2,787	271	451	14	19,162
2025年度	4,206	6,172	449	1,936	378	3,673	1,536	242	434	18	19,044
増減	▲ 335	+1,056	▲ 37	+326	+40	+125	▲ 1,252	▲ 28	▲ 17	+4	▲ 119
増減 (為替影響除き)	▲ 287	+1,130	▲ 45	+291	+39	+128	▲ 1,208	▲ 26	▲ 28	+4	▲ 2

# 〈建設機械・車両〉（一般建機）2025年度の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は、前年比+1.1%増収の1兆8,917億円。為替影響を除く実質ベースでは前年比+0.2%増収。
- ・アジア、日本などで減収となったものの、北米、欧州などで増収。

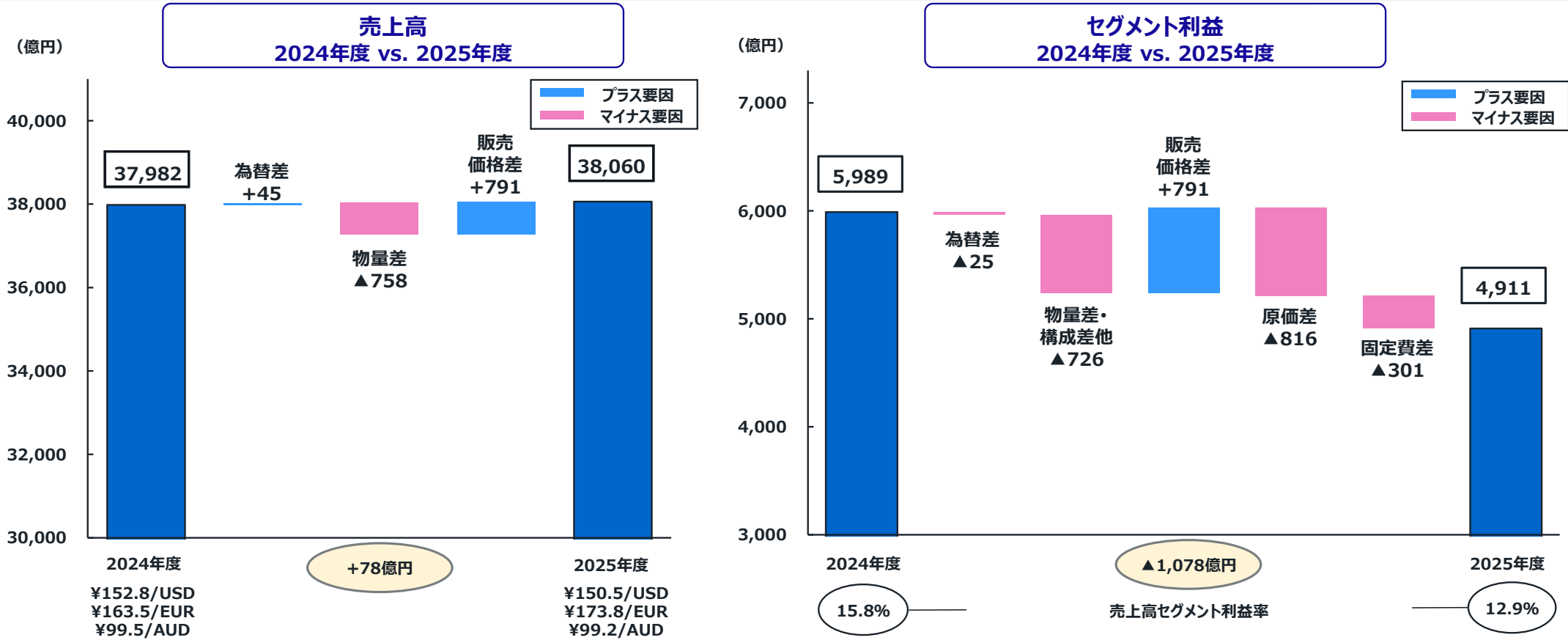


(億円)	米州		欧州 アフリカ 中近東			オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2024年度	5,723	1,719	2,619	601	808	1,060	2,205	531	164	3,282	18,712
2025年度	6,266	1,597	2,989	627	749	1,042	1,814	515	191	3,127	18,917
増減	+543	▲ 123	+370	+25	▲ 59	▲ 17	▲ 391	▲ 16	+28	▲ 155	+205
増減 (為替影響除き)	+611	▲ 128	+192	▲ 33	▲ 49	▲ 20	▲ 380	▲ 15	+26	▲ 155	+47



## ＜建設機械・車両＞ 2025年度の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、販売価格改善効果が物量減のマイナス影響を上回り、前年比+78億円の増収。
- ・セグメント利益は、販売価格の改善に努めたものの、物量減、構成差や原価差に含まれる米国関税によるコスト増のマイナス影響が上回り、前年比▲1,078億円の減益。
- ・売上高セグメント利益率は、前年比▲2.9ポイント低下し12.9%。

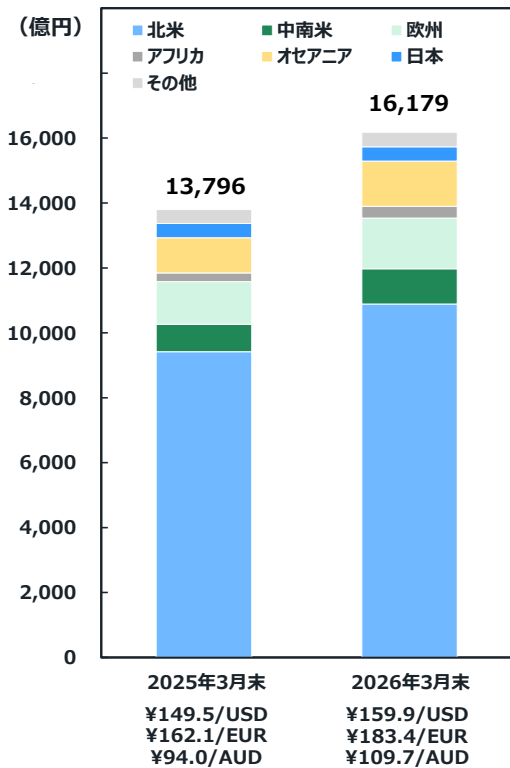


# <リテールファイナンス> 2025年度の状況

- ・ 資産は、新規取組の増加や前期末に対し円安となった影響により、前年度末比+2,383億円の増加。
- ・ 新規取組高は、主に北米・欧州でのファイナンス利用の増加により、前年比+758億円の増加。
- ・ 売上高は、主に債権残高の拡大により、前年比+29億円の増収。セグメント利益は、主に資金調達コストの低下により、前年比+72億円の増益。

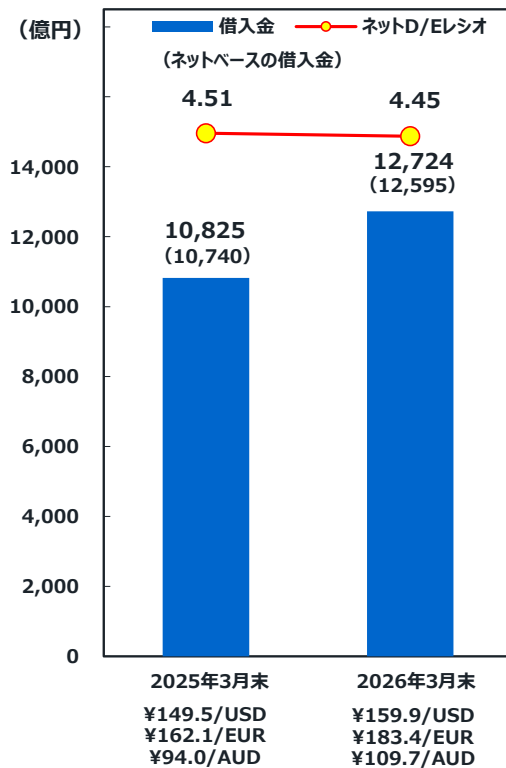
## 資産

2025年3月末 vs. 2026年3月末



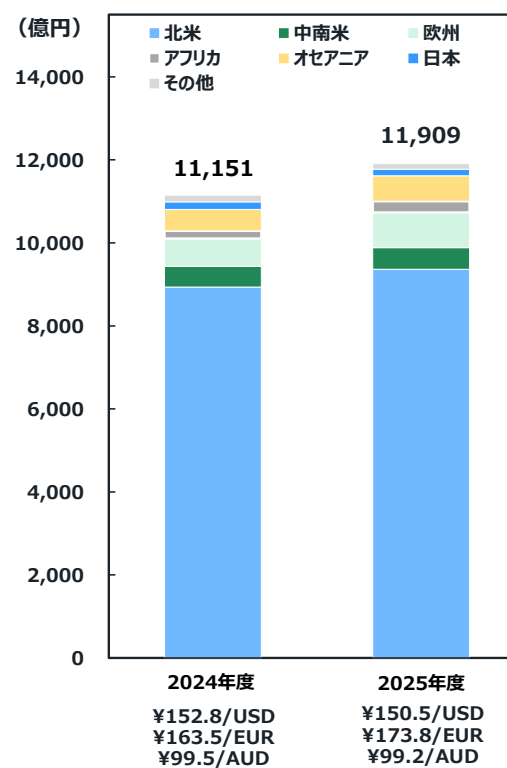
## 借入金

2025年3月末 vs. 2026年3月末



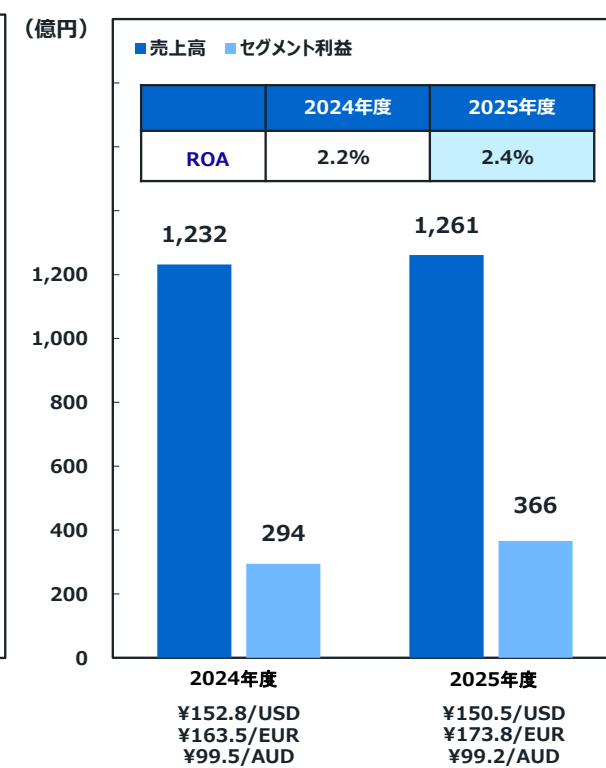
## 新規取組高

2024年度 vs. 2025年度



## 収益

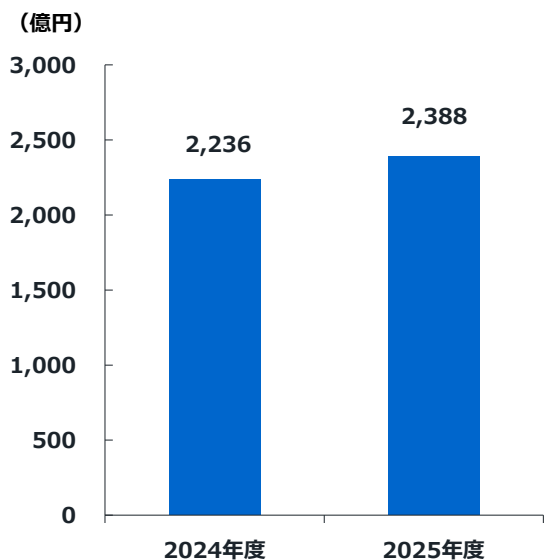
2024年度 vs. 2025年度



## <産業機械他> 2025年度の状況

- ・売上高は、前年比+6.8%増収の2,388億円。セグメント利益は、前年比+38.5%増益の379億円。
- ・自動車産業向けは、主に大型プレスの販売が増加。半導体産業向けは、利益率の高いメンテナンス売上が増加し、増収増益。
- ・売上高セグメント利益率は、前年比+3.6ポイント上昇し15.9%。

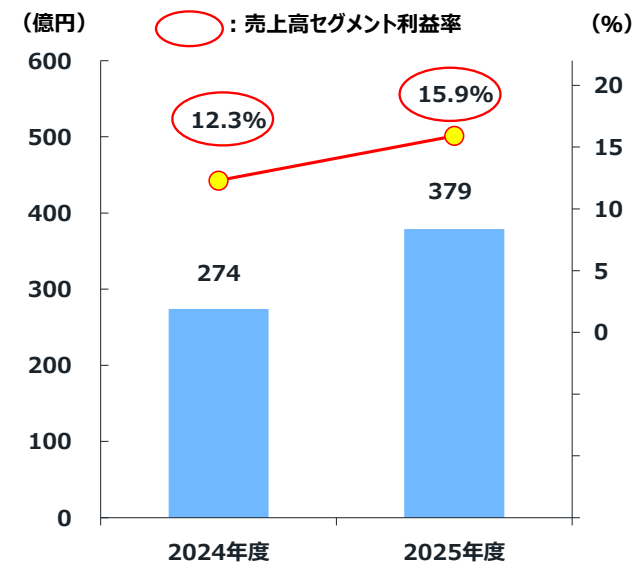
売上高  
2024年度 vs. 2025年度



売上高の内訳

(億円)	2024年度	2025年度	前年比	
			増減	増減率
コマツ産機	574	691	+117	+20.4%
コマツNTC	479	476	▲3	▲0.7%
ギガフォトン	598	696	+98	+16.3%
その他	585	525	▲60	▲10.3%
合計	2,236	2,388	+152	+6.8%

セグメント利益  
2024年度 vs. 2025年度



# 連結貸借対照表とフリー・キャッシュ・フロー（FCF）

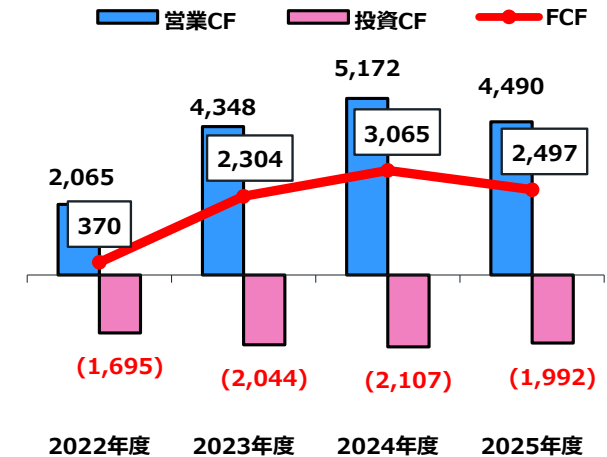
- ・総資産は、主に前年度末に対し円安となった影響により、+6,504億円増加の6兆4,239億円。
- ・棚卸資産は、前年度末比+1,952億円増加の1兆6,019億円。株主資本比率は、前年度末比▲0.3ポイント低下し54.7%。
- ・FCFは、前年比▲568億円減少の2,497億円。

## 連結貸借対照表

金額単位：億円	2025年3月末 ¥149.5/USD ¥162.1/EUR ¥94.0/AUD	2026年3月末 ¥159.9/USD ¥183.4/EUR ¥109.7/AUD	増減
○：ネットD/Eレシオ			
現金・預金（含む定期預金）[a]	3,856	4,397	+541
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	20,825	23,368	+2,543
棚卸資産	14,067	16,019	+1,952
有形固定資産	9,143	9,824	+681
その他資産	9,845	10,631	+786
<b>資産合計</b>	<b>57,735</b>	<b>64,239</b>	<b>+6,504</b>
支払手形・買掛金	3,349	3,555	+205
借入金・社債 [b]	11,506	13,410	+1,904
その他負債	9,431	10,190	+759
<b>負債合計</b>	<b>24,287</b>	<b>27,155</b>	<b>+2,868</b>
（株主資本比率）	（55.0%）	（54.7%）	（▲0.3ポイント）
株主資本	31,734	35,108	+3,374
非支配持分	1,715	1,977	+262
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>57,735</b>	<b>64,239</b>	<b>+6,504</b>
● ネットD/Eレシオの借入金・社債 [b-a]	0.24 7,650	0.26 9,013	+1,363
● ネットD/Eレシオ （リテールファイナンス会社を除いた場合）	▲0.11	▲0.11	

## FCF

金額単位：億円	2024年度	2025年度	増減
営業CF	+5,172	+4,490	▲ 682
運転資本	▲ 1,216	▲ 1,324	▲ 108
その他	+6,388	+5,813	▲ 574
投資CF	▲ 2,107	▲ 1,992	+114
<b>FCF</b>	<b>+3,065</b>	<b>+2,497</b>	<b>▲ 568</b>

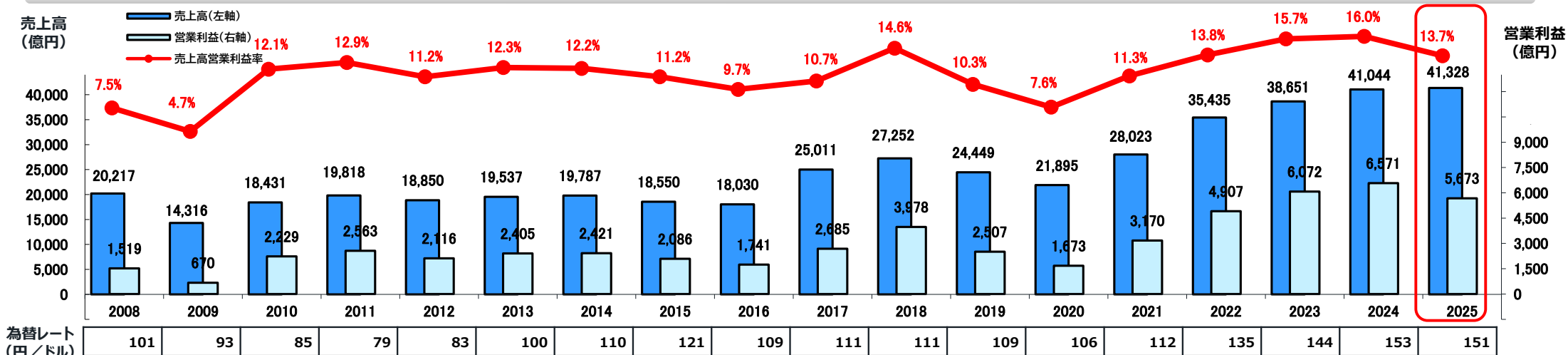


# 中期経営計画の進捗状況：経営戦略の進捗状況と2026年度以降の課題

成長戦略3本柱	区分	主要な活動の例
1. イノベーションによる価値共創	2025年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>スウェーデン銅鉱山でパワーアグノスティックトラックの稼働を開始</li> <li>水素燃料電池搭載油圧ショベルの実証実験を実施</li> <li>Applied Intuition社との協業による次世代鉱山機械向けSDV（ソフトウェア・定義ド・ビークル）開発推進</li> <li>ティアフォー社との協業による建設機械の自動運転技術の実用化推進</li> </ul>
	2026年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>協業による多様な動力源への対応、より高度な自動化・遠隔化の加速</li> <li>スマートコンストラクション®の拡大に向けたサポート体制構築</li> <li>マイニング、コンストラクション、林業におけるソリューションビジネスモデルの拡大</li> </ul>
2. 成長性と収益性の追求	2025年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>中近東における初の大規模な鉱山機械の受注（パキスタンのレコディク銅・金鉱開発プロジェクト）</li> <li>AHS（鉱山向け無人ダンプトラック運行システム）累計導入台数1,000台達成</li> <li>米国SRC of Lexington社の事業買収によるリマニュファクチャリング事業の強化</li> <li>アフリカ地域における販売・サービス体制の強化（コートジボワールにおけるトレーニング拠点設立への着手）</li> </ul>
	2026年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハードロック分野の商品・販売網の拡大と坑内掘り新工法開拓</li> <li>各地でのアフターマーケット事業、マーケティング・プロダクトサポート活動強化</li> </ul>
3. 経営基盤の革新	2025年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ERM（全社的リスク管理）によるリスクマネジメント定着とクロスソーシング、マルチソーシングによるサプライチェーン強化</li> <li>イノベーション創出のための人材育成と各機能におけるAI活用・DXによる業務変革の加速</li> <li>従業員のエンゲージメントサーベイにおけるスコア向上</li> <li>グローバルブランドキャンペーンが国際的クリエイティブアワードで高評価を獲得</li> </ul>
	2026年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹システム刷新によるグループ全体での最適な統合環境の構築</li> <li>現場のメカニックが日常的に効率化できるAIソリューションの導入・定着</li> </ul>

# 中期経営計画の進捗状況：年間業績推移および中期経営計画の経営目標達成状況

・販売価格の改善により2025年度の売上高は+0.7%の増収。営業利益は米国関税の影響により減益。経営目標は概ね計画通りに進捗。



<中期経営計画の経営目標達成状況>

区分	項目	指標	経営目標	2025年度 実績
財務	成長性	売上高成長率	・ 業界水準を超える成長率	+0.7%
	収益性	営業利益率	・ 業界トップレベルの営業利益率	13.7%
		FCF	・ FCF 3年累計1兆円 (M&A関連の支出を除く)	2,632億円
	効率性	ROE	・ ROE 10%以上	11.3%
		ROA	・ ROA 1.5% ~ 2.0%	2.4%
リテールファイナンス事業	ネットD/ELレシオ	・ ネットD/ELレシオ 6倍以下	4.45	
株主還元	連結配当性向	・ 連結配当性向を40%以上とする。 ・ 財務の健全性、株主資本比率他を総合的に勘案して自己株式の取得を適時に実施する。		※ 45.9%
				1,000億円の自己株式取得
非財務	社会課題解決	社会課題解決KPI	・ 社会課題解決KPI (30項目) の達成度を総合評価 (環境負荷軽減含む)	目標に対し順調に進捗
		環境負荷低減	CO <sub>2</sub> 排出削減：2030年50%減 (2010年比)	生産によるCO <sub>2</sub> 削減率 ※ ▲48%
			再生可能エネルギー使用率：2030年50%	製品稼働時のCO <sub>2</sub> 削減率 ※ ▲23%
			再生可能エネルギー使用比率 ※ 36%	

※ 見込み値

## Ⅱ. 2026年度の業績見通し

## 2026年度の業績見通しに織り込んだ影響

・2026年度の業績見通しに織り込んだ前提とその影響額は次の通り。

### 中東情勢

売上 ▲901億円、コスト増 +188億円（損）

（前提）中東情勢の影響と石油価格の高騰、サプライチェーンの混乱が年間を通して継続する。

- ・ 中近東地域の需要の減少
- ・ 中近東からの石油依存度の高い国/地域の需要減少
- ・ 燃料、油脂、塗料、ナフサ等、原油価格高騰に伴う調達コストアップ
- ・ 燃料価格高騰に伴う海上輸送費コストアップ

### 米国関税

コスト増 +378億円（損）

（前提）122条追加関税は年間を通して、鉄鋼アルミ関税見直しは4月6日より年間を通して適用。

- ・ IEEPA関税は廃止
- ・ 122条追加関税の税率は10%
- ・ 鉄鋼アルミ関税は、通関価格に対し派生品25%、鉄アルミ製品50%（含有量計算は廃止）
- ・ IEEPA関税の還付金300億円を織り込み



## 2026年度の業績見通し

- ・売上高は、前年比▲0.4%減収の4兆1,180億円。
- ・営業利益は、前年比▲10.5%減益の5,080億円。売上高営業利益率は、▲1.4ポイント低下し12.3%。
- ・純利益は、前年比▲15.5%減益の3,180億円。

金額単位：億円	2025年度 (A) ¥150.5/USD ¥173.8/EUR ¥99.2/AUD	2026年度 (見通し) (B) ¥150.0/USD ¥174.0/EUR ¥106.0/AUD	前年比 (B) - (A)	
			増減	増減率
売上高	41,328	41,180	▲ 148	▲0.4%
セグメント利益	5,712	5,140	▲ 572	▲10.0%
その他の営業収益(▲費用)	▲ 38	▲ 60	▲22	-
営業利益	5,673	5,080	▲ 593	▲10.5%
売上高営業利益率	13.7%	12.3%	▲1.4ポイント	-
その他の収益(▲費用)	▲ 301	▲ 420	▲ 119	-
税引前当期純利益	5,373	4,660	▲ 713	▲13.3%
当社株主に帰属する当期純利益	3,764	3,180	▲ 584	▲15.5%

ROE	11.3%	(※) 9.1%	▲2.2ポイント
1株当たり配当金(円)	190円	190円	±0円
連結配当性向	45.9%	(※) 53.8%	

(※) 自己株式取得の影響を考慮していない

売上高・営業利益への為替感応度(1円変動/年)

	売上高	営業利益
USD	146億円	45億円
EUR	29億円	6億円
AUD	40億円	3億円

# 2026年度の各セグメント売上高と利益の見通し

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年比▲0.4%減収の3兆7,900億円。セグメント利益は、前年比▲10.4%減益の4,400億円。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年比+1.1%増収の1,275億円。セグメント利益は、前年比▲1.6%減益の360億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年比+0.1%増収の2,390億円。セグメント利益は、前年比▲2.5%減益の370億円。

金額単位：億円	2025年度		2026年度 (見通し)		前年比			
					増減	増減率		
売上高	41,328	41,180	▲ 148	▲ 0.4%				
建設機械・車両	(37,961)	38,060	(37,782)	37,900	(▲ 179)	▲ 160	(▲ 0.5%)	▲ 0.4%
リテールファイナンス	(1,005)	1,261	(1,029)	1,275	(+24)	+14	(+2.4%)	+1.1%
産業機械他	(2,361)	2,388	(2,369)	2,390	(+7)	+3	(+0.3%)	+0.1%
消去	▲ 382	▲ 385	▲ 3	-				
セグメント利益	13.8%	5,712	12.5%	5,140	▲ 1.3ポイント	▲ 572		▲ 10.0%
建設機械・車両	12.9%	4,911	11.6%	4,400	▲ 1.3ポイント	▲ 511		▲ 10.4%
リテールファイナンス	29.0%	366	28.2%	360	▲ 0.8ポイント	▲ 6		▲ 1.6%
産業機械他	15.9%	379	15.5%	370	▲ 0.4ポイント	▲ 9		▲ 2.5%
消去または全社		55		10	▲ 45	-		

## 各セグメントの状況：

### ■ 建設機械・車両

売上は、販売価格改善に努めるものの、中東情勢の影響を受けた物量減の影響により減収。  
利益は、販売価格改善に努めるものの、物量減や関税影響の拡大、調達価格上昇等の原価差損のマイナス影響により減益。

### ■ リテールファイナンス

売上は、主に債権残高の拡大に伴い増収。利益は、主にコスト増加により減益。

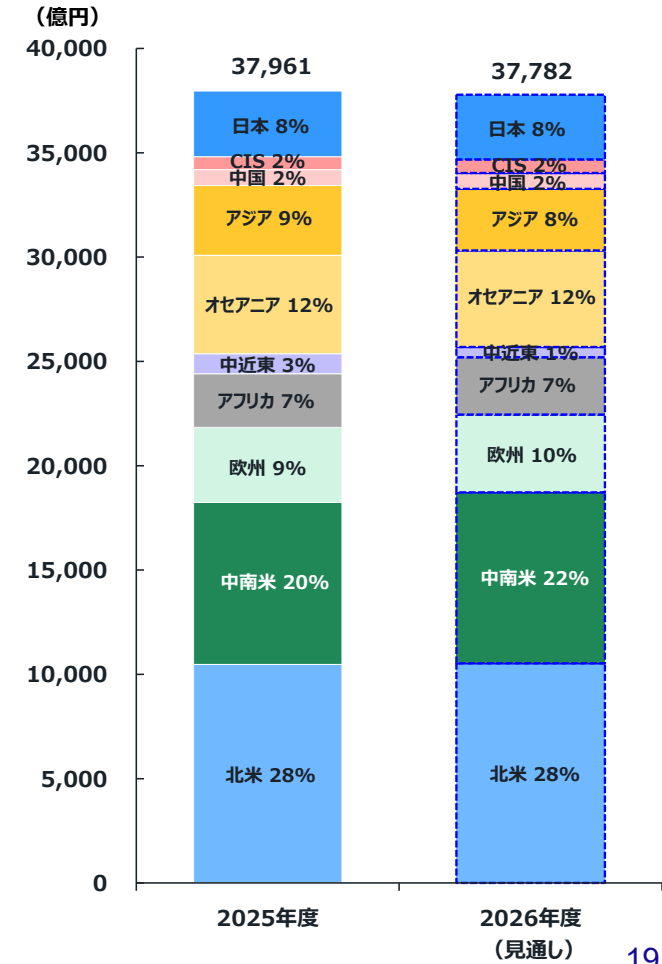
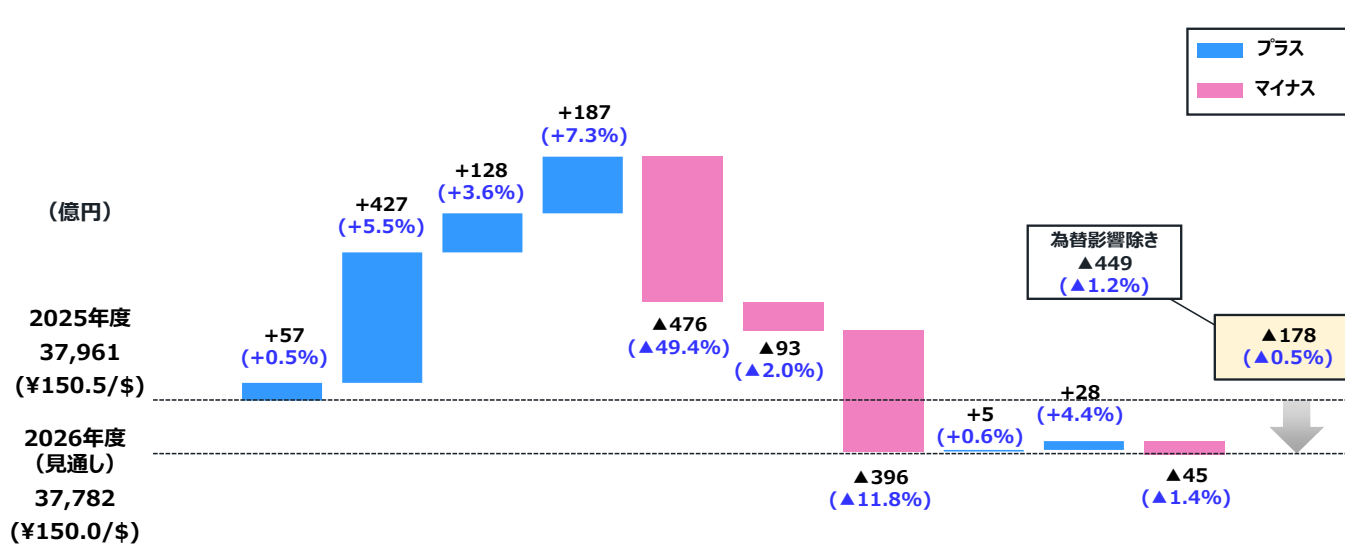
### ■ 産業機械他

半導体産業向けでは、市場回復を背景とした顧客の増産基調を受けて販売増加、自動車産業向けは、大型プレスおよび車載電池製造装置の販売減少及び中東情勢を受けた調達価格の上昇等の影響により全体では増収減益。

□ % : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

# ＜建設機械・車両＞2026年度の地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

・外部顧客向け売上高は、前年比▲0.5%減収の3兆7,782億円。為替影響を除くと、前年比▲1.2%の減収。

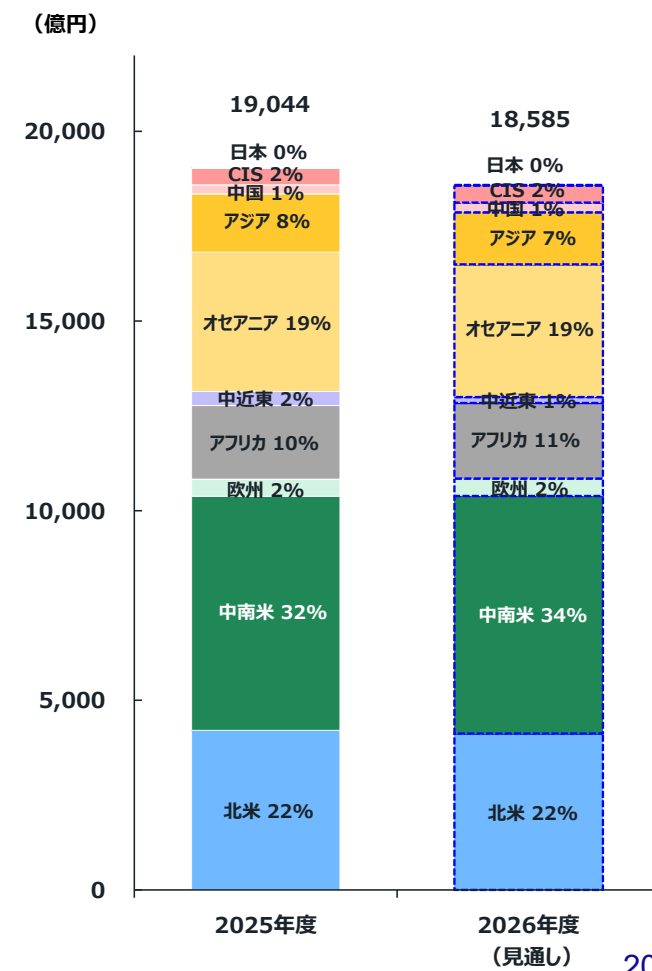
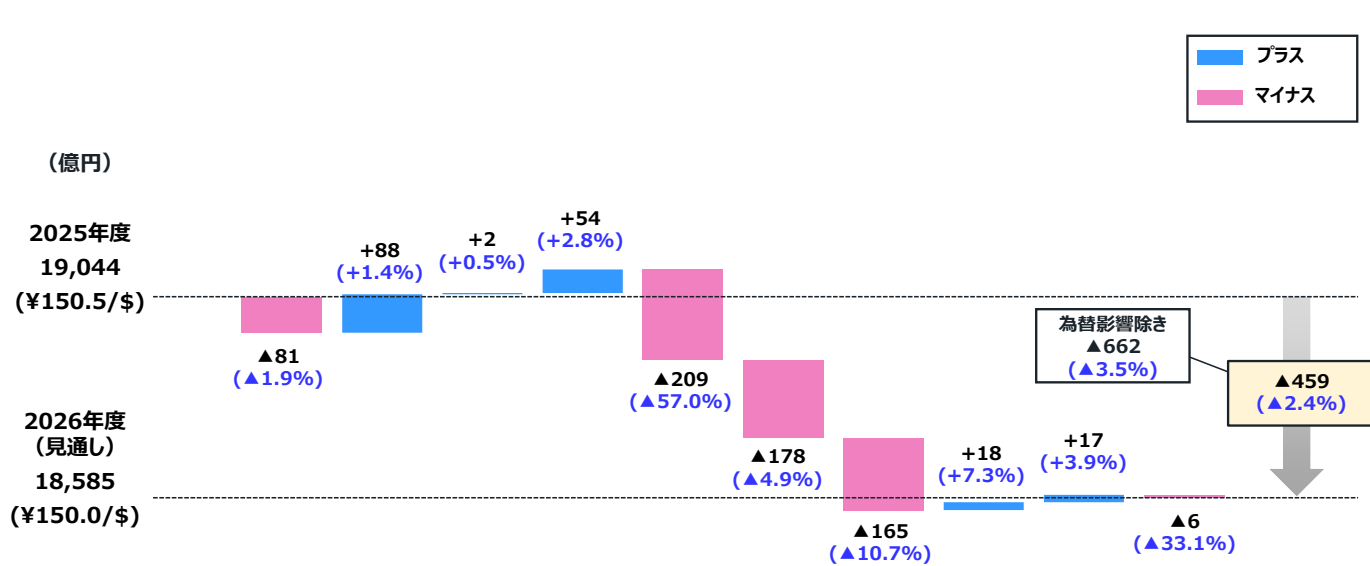


(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア		アジア	CIS	日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2025年度	10,472	7,769	※3,600	2,563	※964	4,716	3,349	757	625	3,145	37,961
2026年度 (見通し)	10,530	8,195	3,728	2,749	488	4,622	2,953	763	653	3,102	37,782
増減	+57	+427	+128	+187	▲476	▲93	▲396	+5	+28	▲45	▲178
増減 (為替影響除き)	+95	+442	+131	+137	▲474	▲353	▲375	▲18	+10	▲45	▲449

※FY26より“中近東”に含まれている一部地域を“欧州”に組み替え。FY25を遡及して組み替えている。

# ＜建設機械・車両＞（鉱山機械）2026年度の地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・外部顧客向け売上高は、前年比▲2.4%減収の1兆8,585億円。為替影響を除くと、前年比▲3.5%の減収。
- ・石炭向け需要低迷や中東情勢の影響により、アジア、中近東で減収。北米、オセアニアでは鉱山会社の更新サイクル一巡により需要減少。

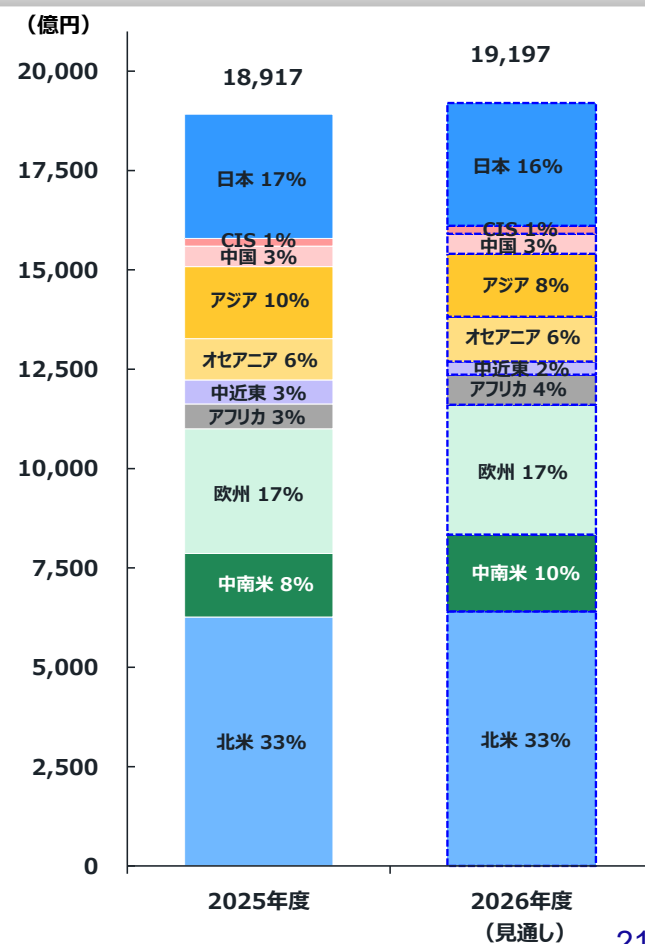
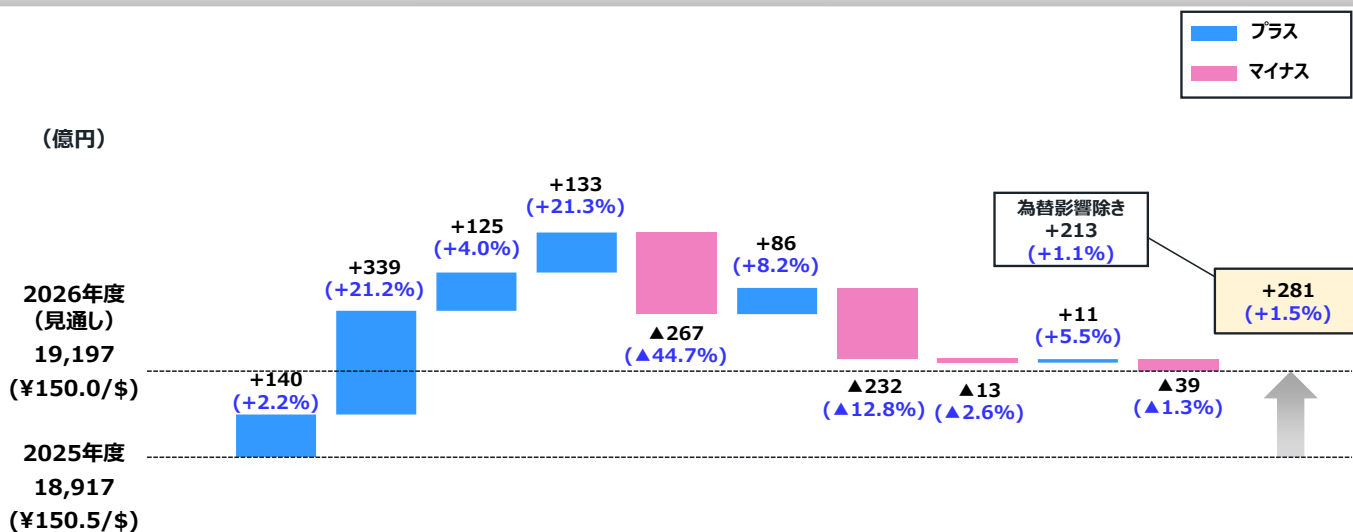


(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア			CIS	日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国			
2025年度	4,206	6,172 ※	459	1,936 ※	367	3,673	1,536	242	434	18	19,044
2026年度 (見通し)	4,125	6,259	461	1,990	158	3,495	1,371	261	451	13	18,585
増減	▲ 81	+88	+2	+54	▲ 209	▲ 178	▲ 165	+18	+17	▲ 6	▲ 459
増減 (為替影響除き)	▲ 60	+95	+6	+21	▲ 209	▲ 373	▲ 154	+11	+6	▲ 6	▲ 662

※FY26より“中近東”に含まれている一部地域を“欧州”に組み替え。FY25を遡及して組み替えている。

# ＜建設機械・車両＞（一般建機）2026年度の地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・外部顧客向け売上高は、前年比+1.5%増収の1兆9,197億円。為替影響を除くと、前年比+1.1%の増収。
- ・中東情勢の影響により中近東、アジアなどで減収を見込むも、インフラ、エネルギー向け需要が堅調な北米や公共投資が需要を牽引する中南米の増収により、一般建機全体では増収の見通し。

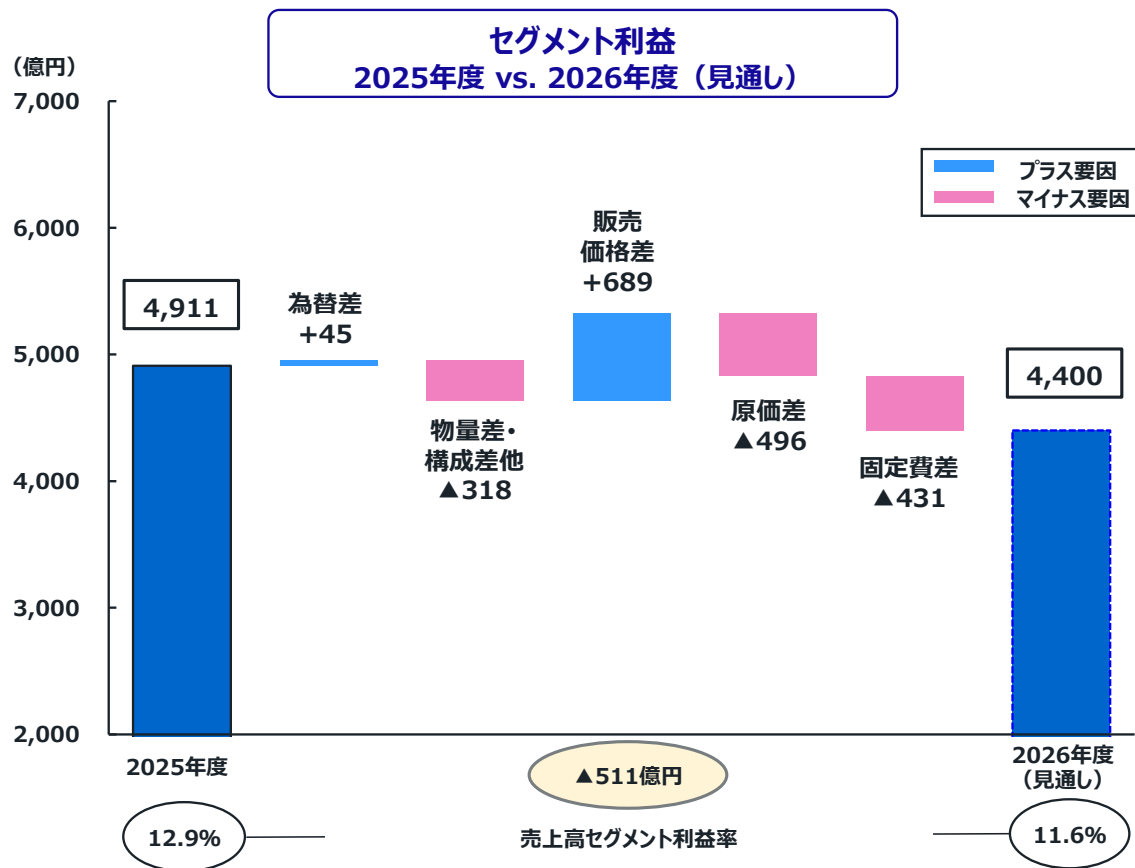
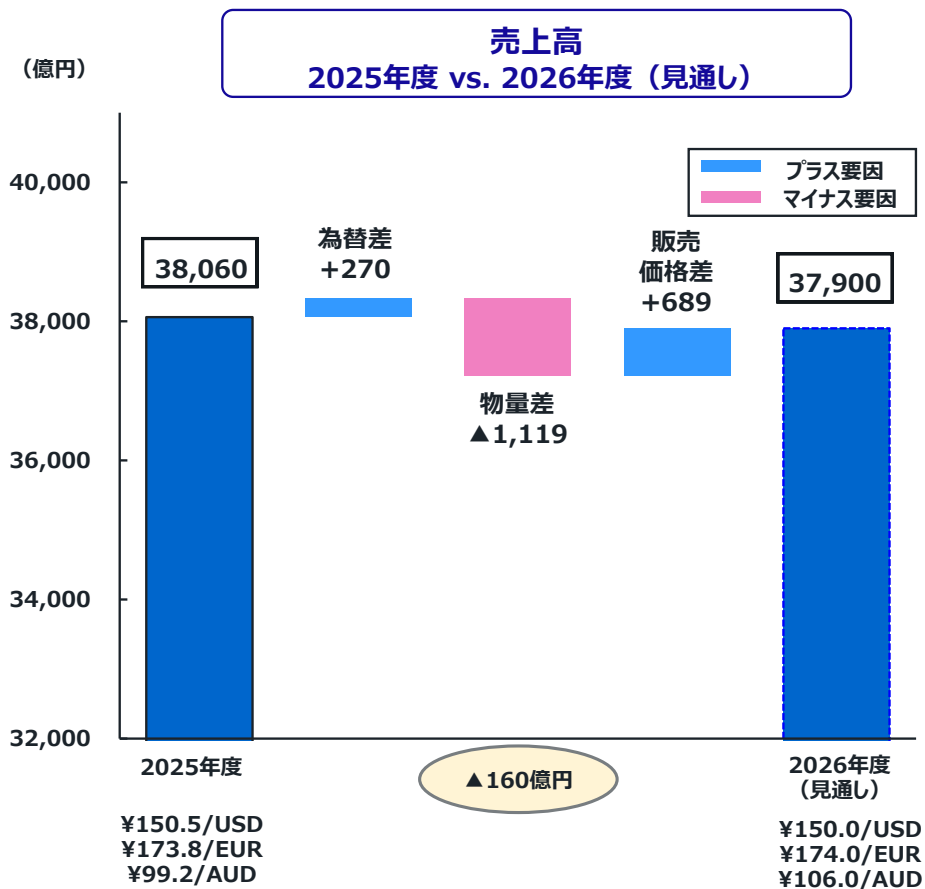


(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア		アジア	CIS	日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2025年度	6,266	1,597	※ 3,141	627	※ 597	1,042	1,814	515	191	3,127	18,917
2026年度 (見通し)	6,405	1,936	3,266	759	330	1,127	1,582	502	202	3,088	19,197
増減	+140	+339	+125	+133	▲ 267	+86	▲ 232	▲ 13	+11	▲ 39	+281
増減 (為替影響除き)	+155	+347	+124	+116	▲ 265	+21	▲ 222	▲ 29	+4	▲ 39	+213

※FY26より“中近東”に含まれている一部地域を“欧州”に組み替え。FY25を遡及して組み替えている。

# ＜建設機械・車両＞ 2026年度の売上高とセグメント利益の見通しの増減要因

- ・売上高は、販売価格改善に努めるものの、中東情勢の影響を受けた物量減の影響により、前年比▲160億円減収の見通し。
- ・セグメント利益は、販売価格改善に努めるものの、物量減や関税影響の拡大、調達価格上昇等の原価差のマイナス影響により、前年比▲511億円減益の見通し。
- ・売上高セグメント利益率は、前年比▲1.3ポイント低下し11.6%の見通し。

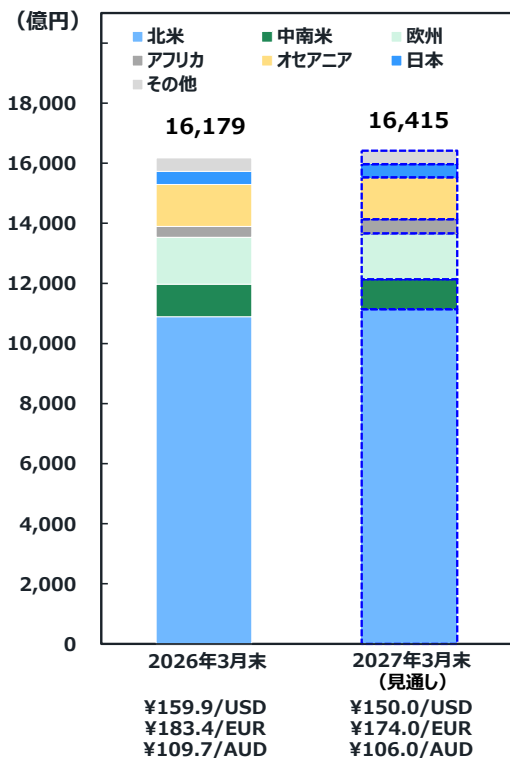


# <リテールファイナンス> 2026年度の見通し

- ・ 資産は、新規取組が回収を上回り、前年度末比+236億円の増加の見通し。
- ・ 新規取組高は、前年に引続き高い利用率を見込むことから、前年比+50億円増加の見通し。
- ・ 売上高は、主に債権残高の拡大に伴い、前年比+14億円の増収。セグメント利益は、主にコスト増加により、前年比▲6億円の減益の見通し。

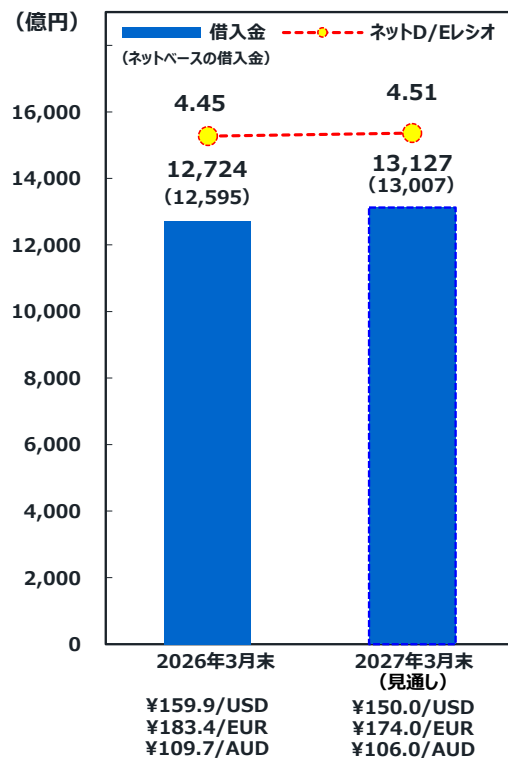
## 資産

2026年3月末 vs. 2027年3月末  
(見通し)



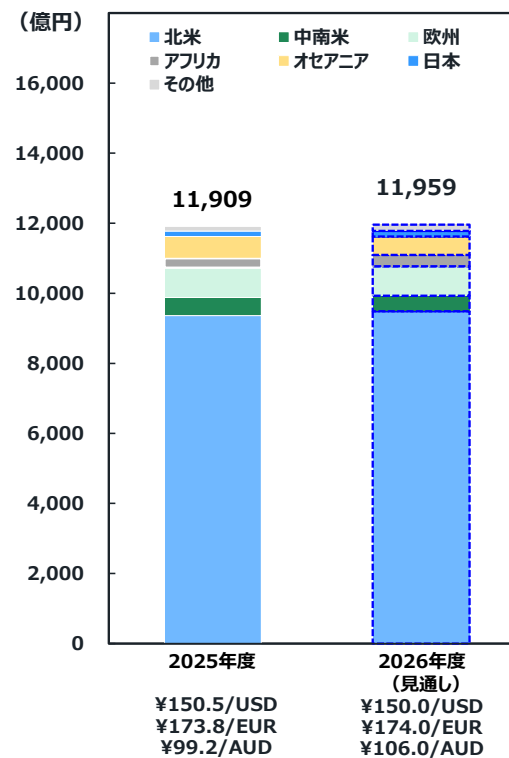
## 借入金

2026年3月末 vs. 2027年3月末  
(見通し)



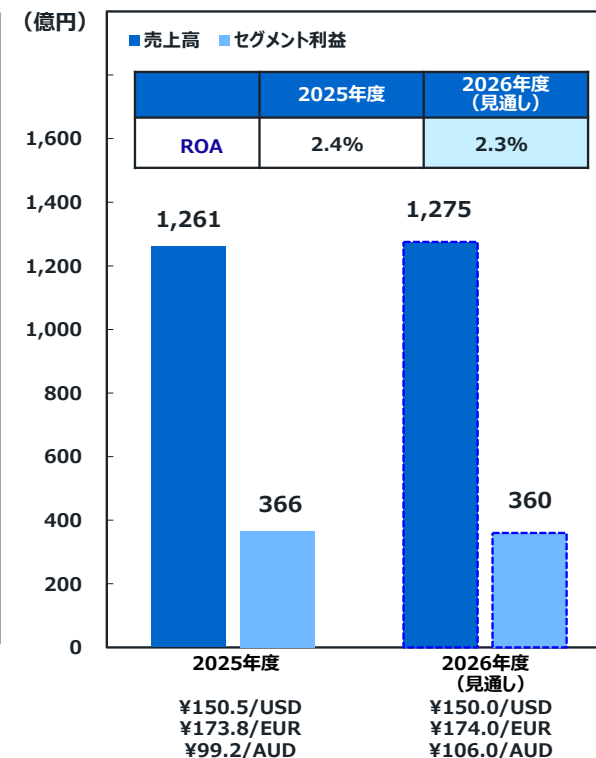
## 新規取組高

2025年度 vs. 2026年度  
(見通し)



## 収益

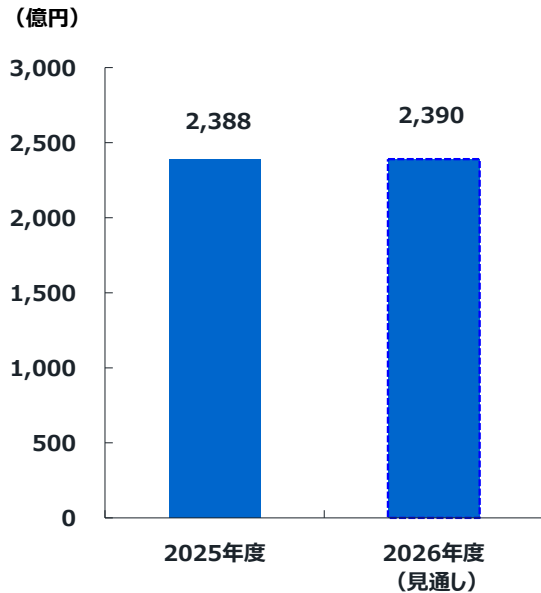
2025年度 vs. 2026年度  
(見通し)



# ＜産業機械他＞ 2026年度の見通し

- ・売上高は、前年比+0.1%増収の2,390億円。セグメント利益は、前年比▲2.5%減益の370億円。
- ・半導体産業向けでは、市場回復を背景とした顧客の増産基調を受けて販売が増加する一方、自動車産業向けは、大型プレス、車載電池製造装置の販売減少及び中東情勢を受けた調達価格の上昇等の影響により、増収減益となる見通し。
- ・売上高セグメント利益率は、前年比▲0.4ポイント低下し15.5%の見通し。

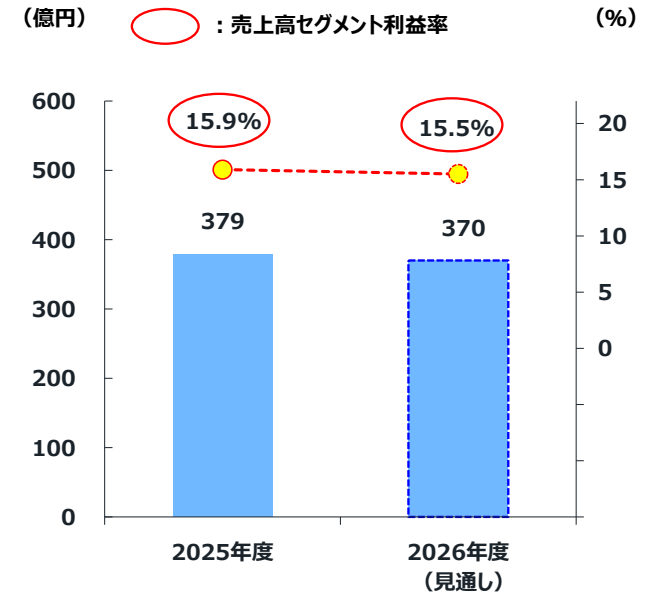
売上高  
2025年度 vs. 2026年度 (見通し)



売上高の内訳

(億円)	2025年度	2026年度 (見通し)	前年比	
			増減	増減率
コマツ産機	691	627	▲ 64	▲9.3%
コマツNTC	476	472	▲ 3	▲0.7%
ギガフォトン	696	754	+58	+8.3%
その他	525	537	+12	+2.3%
合計	2,388	2,390	+3	+0.1%

セグメント利益  
2025年度 vs. 2026年度 (見通し)

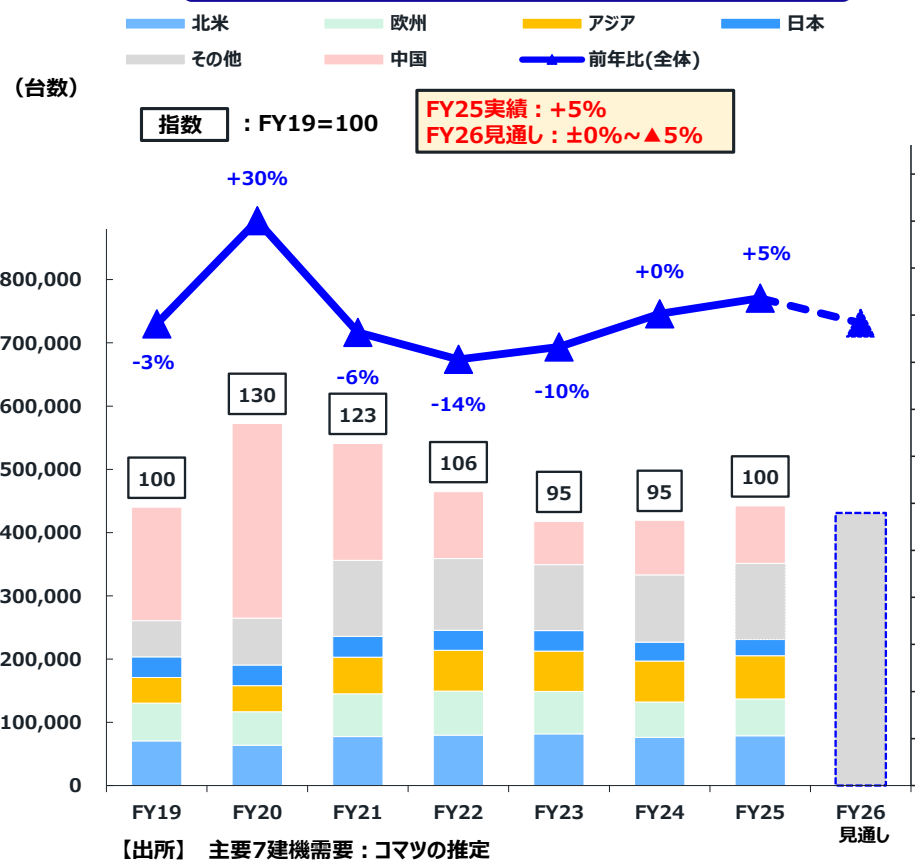




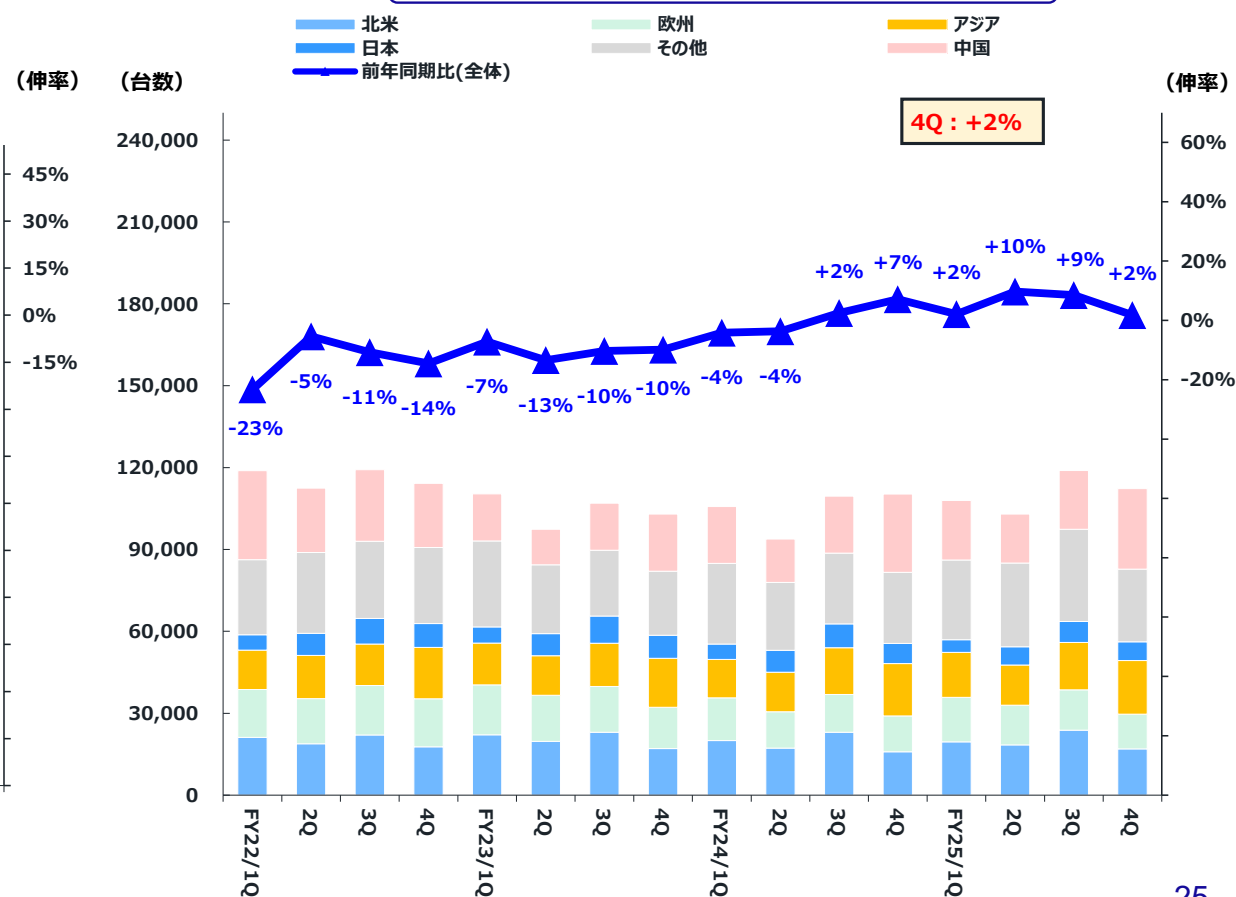
# <建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2025年度の需要は、前年比+5%の増加。
- ・2026年度の需要は、前年比±0%~▲5%の見通し。

## 主要7建機 年度別需要推移



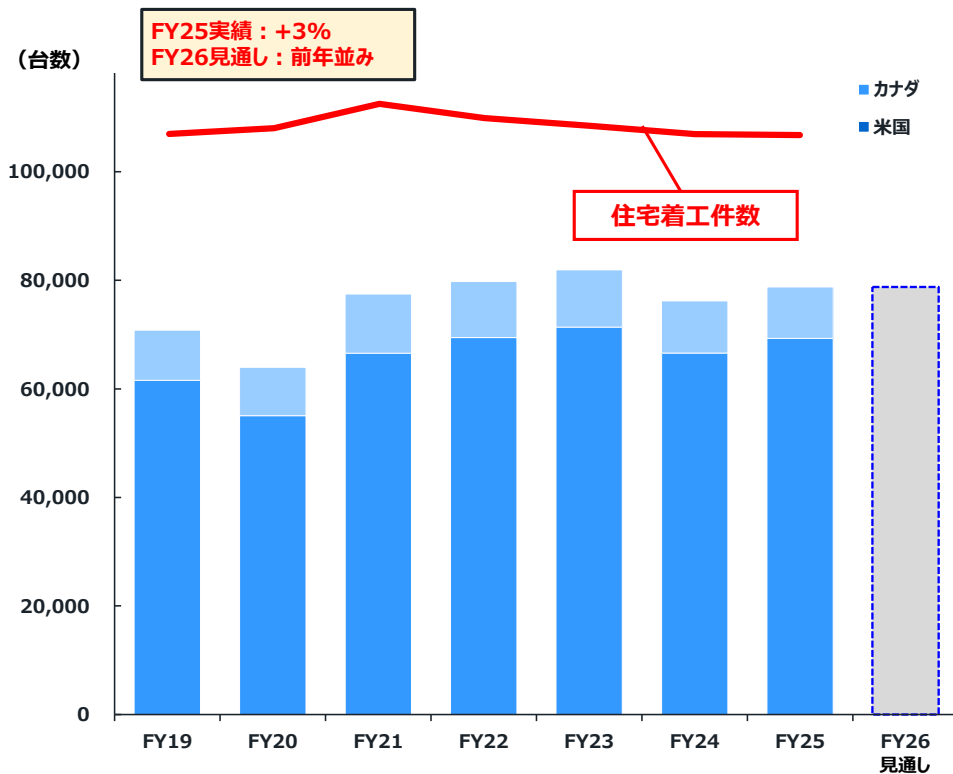
## 主要7建機 四半期別需要推移



# 〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：①北米

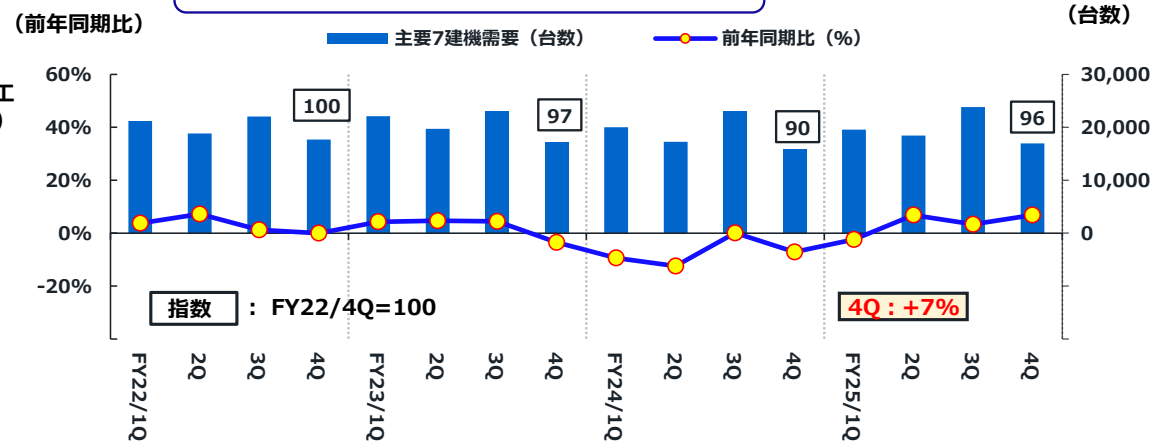
- ・2025年度の需要は、前年比+3%の増加。データセンター等のインフラやレンタル、エネルギー向け需要が堅調に推移。
- ・2026年度の需要は、前年並みの見通し。引き続き需要は堅調に推移。

主要7建機 需要推移と住宅着工件数

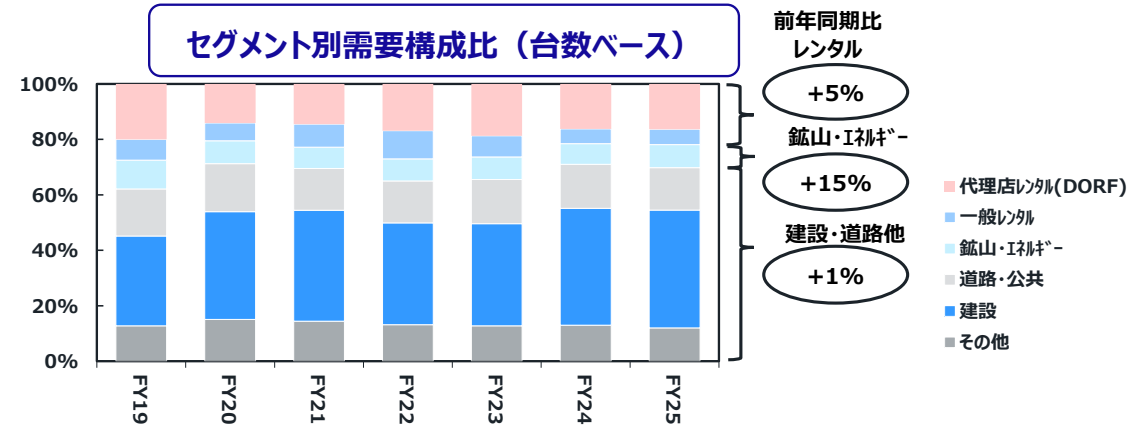


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

主要7建機 四半期需要推移



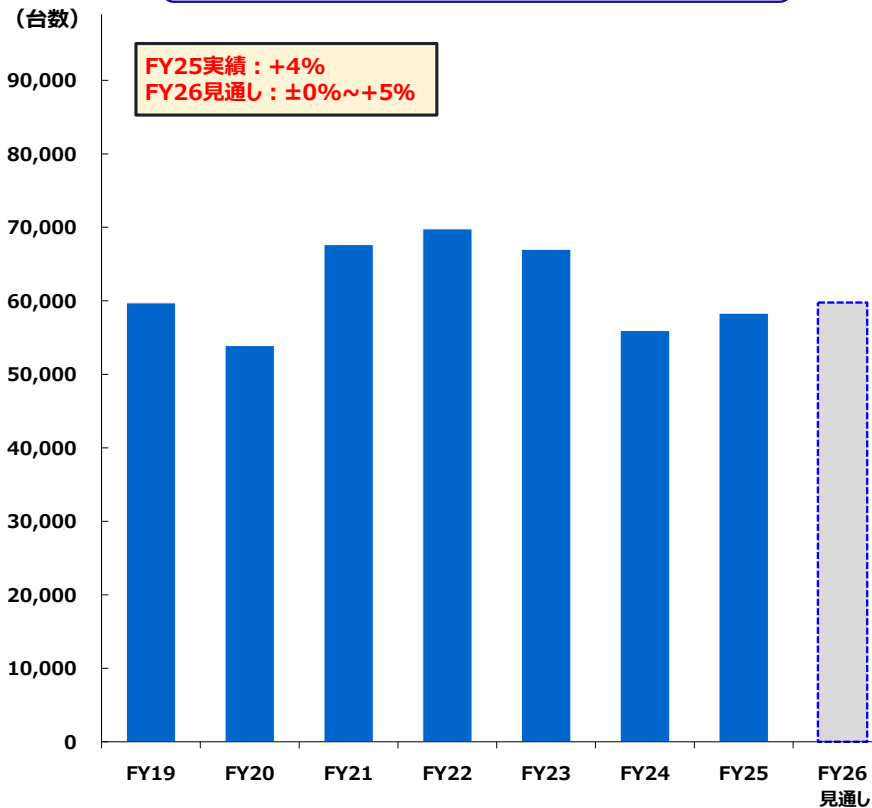
セグメント別需要構成比 (台数ベース)



# 〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：② 欧州

- ・2025年度の需要は、前年比+4%の増加。
- ・2026年度の需要は、前年比±0%~+5%の見通し。ドイツや英国の公共投資が需要を牽引し、堅調に推移する見通し。

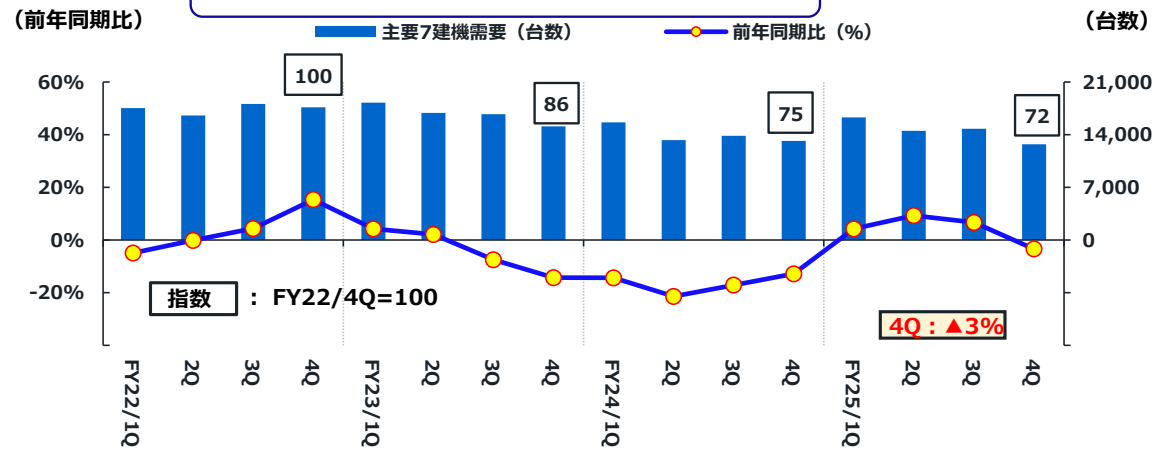
主要7建機 年度別需要推移



FY25実績：+4%  
FY26見通し：±0%~+5%

【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

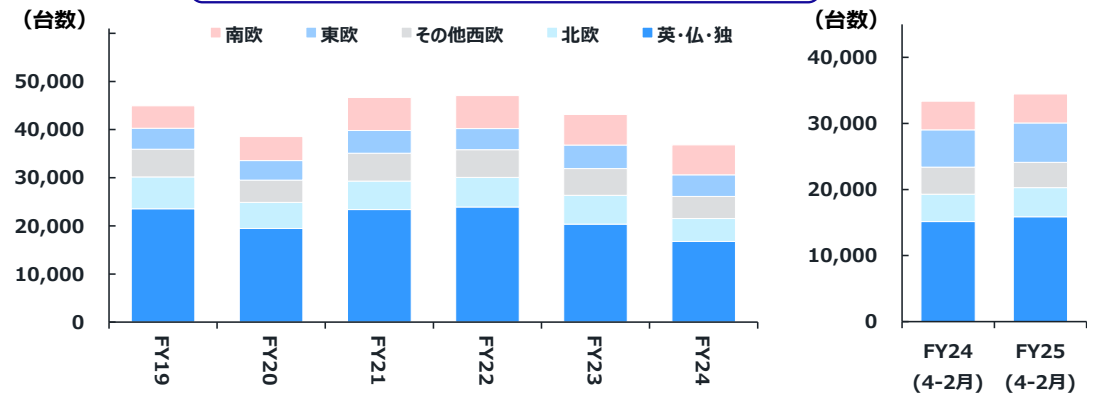
主要7建機 四半期需要推移



指数：FY22/4Q=100

4Q：▲3%

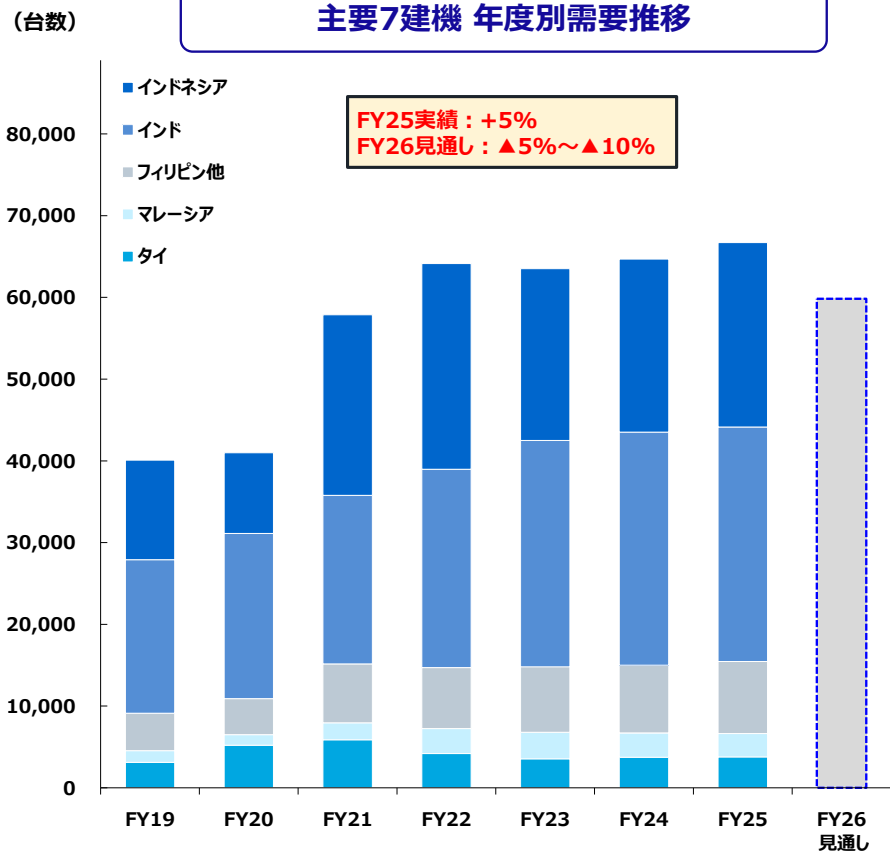
主要7建機 (6tクラス除く) 地域別需要



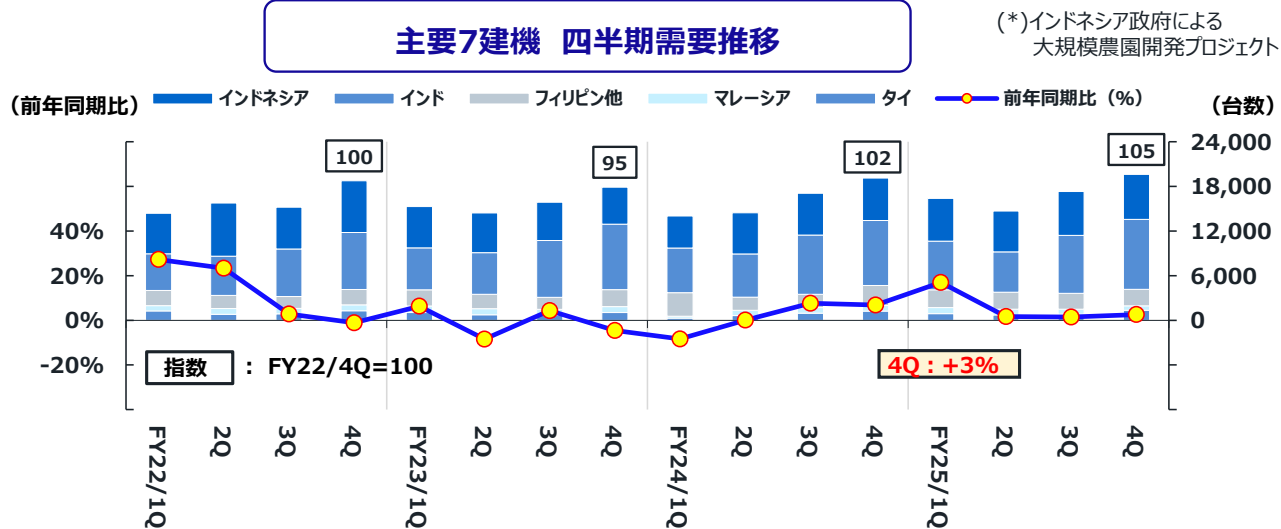
# 〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：③アジア

- ・2025年度の需要は、前年比+5%の増加。インドネシアでは鉱山機械需要が減少した一方、フードエステートプロジェクト(\*)向け等により需要増加。
- ・2026年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し。インドは堅調に推移。インドネシアの石炭向け需要は大幅な減少の見通し。

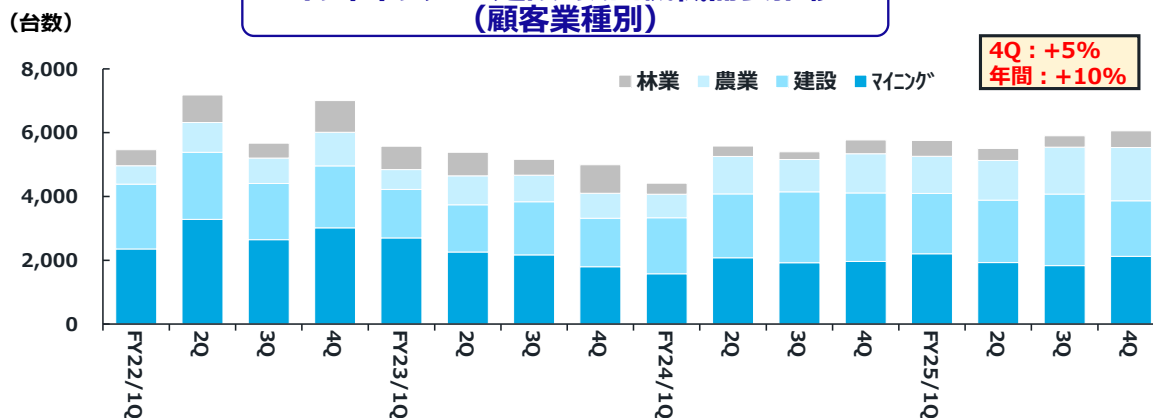
主要7建機 年度別需要推移



主要7建機 四半期需要推移



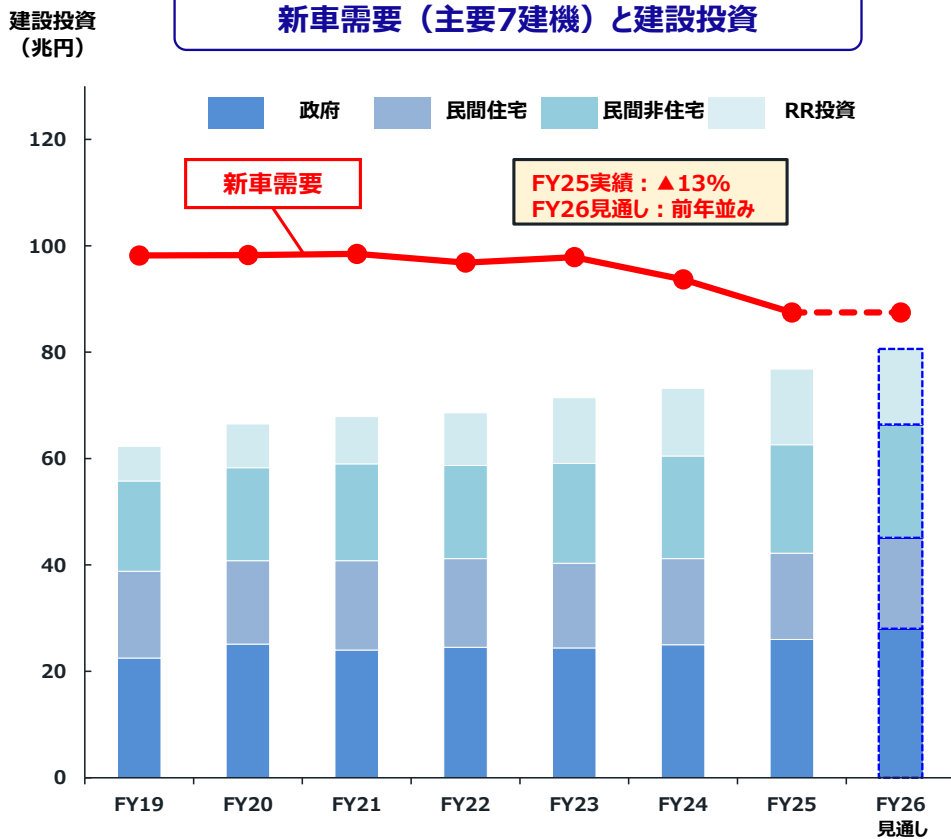
インドネシア：建設・鉱山機械需要推移  
(顧客業種別)



# 〈建設機械・車両〉主要市場の需要推移と見通し：④日本

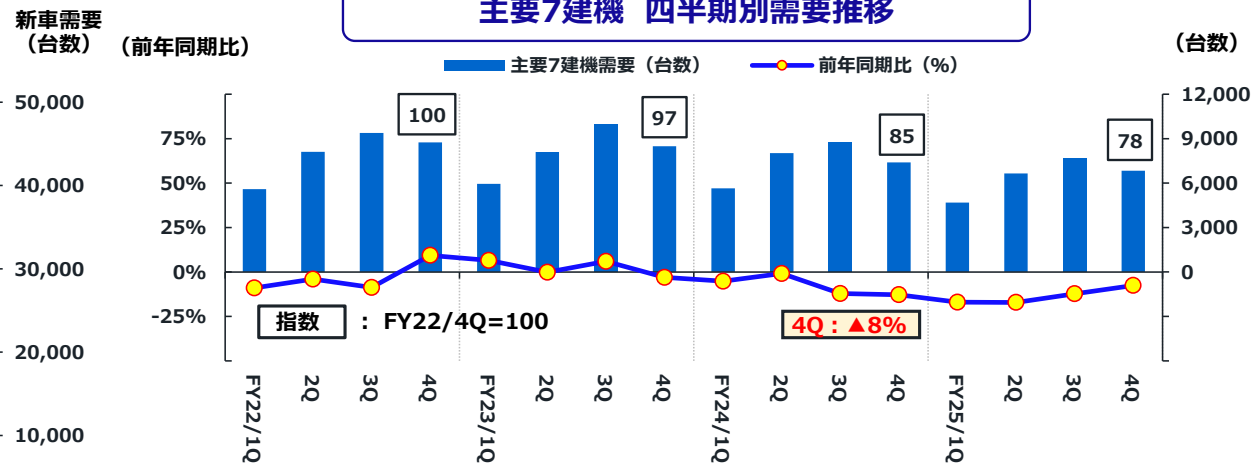
- ・2025年度の需要は、前年比▲13%の減少。一般向け、レンタル向けともに需要が引き続き低調。
- ・2026年度の需要は、前年並みの見通し。

### 新車需要（主要7建機）と建設投資

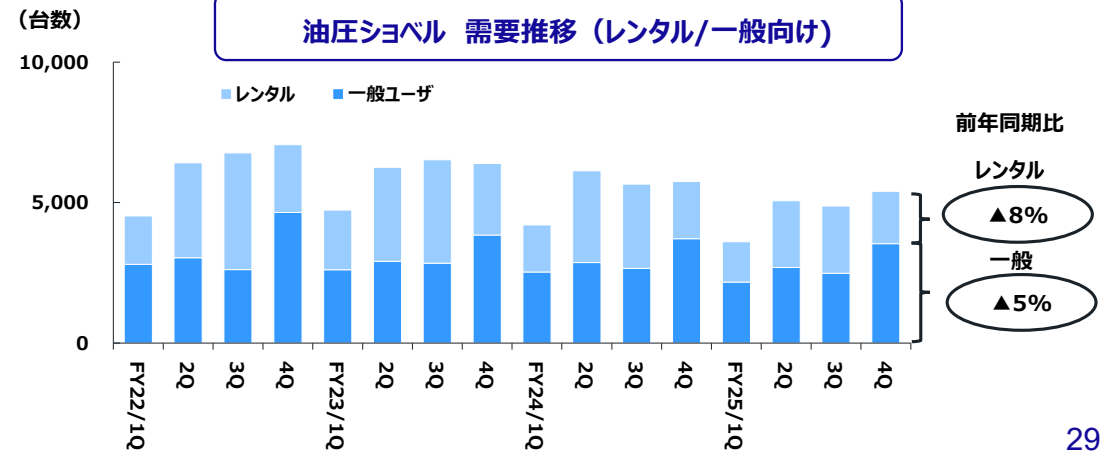


【出所】主要7建機需要：コマツの推定 建設投資：国土交通省／建設経済研究所

### 主要7建機 四半期別需要推移

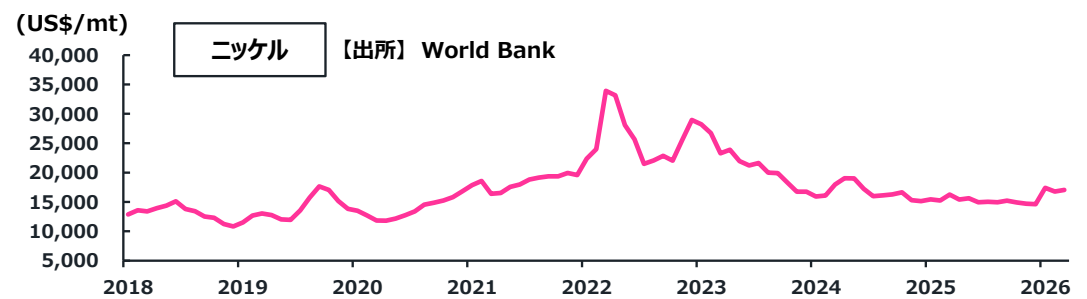
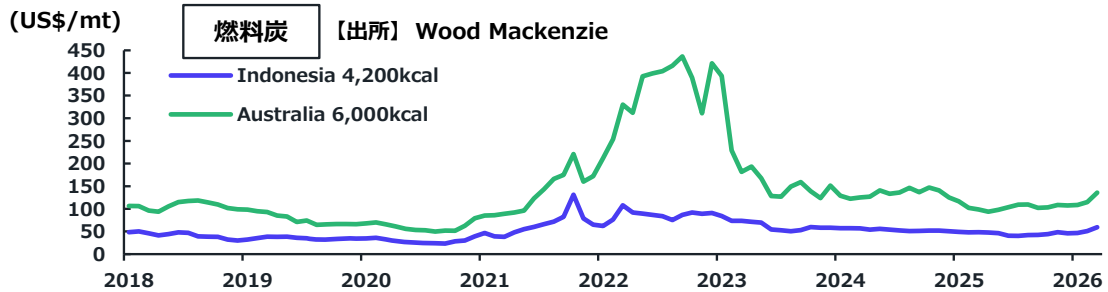
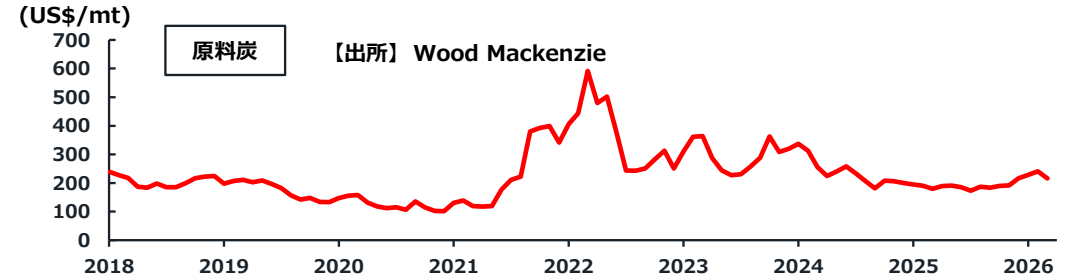
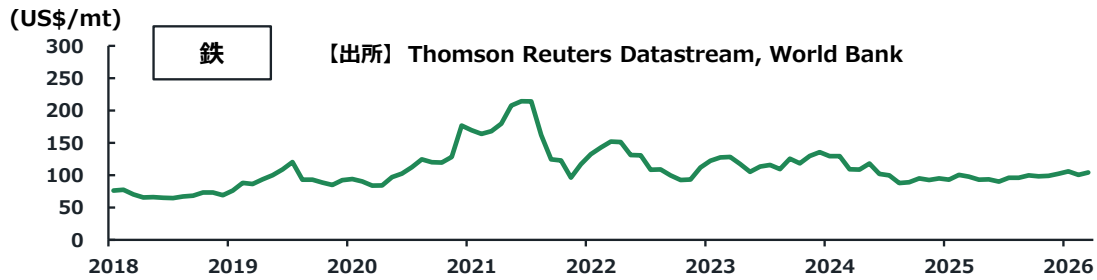
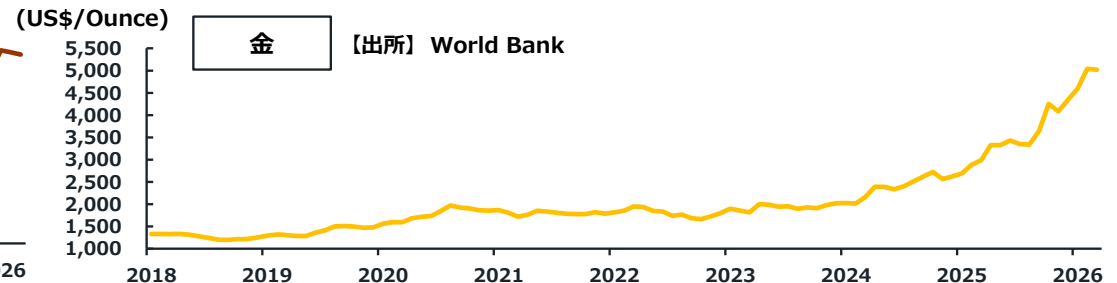
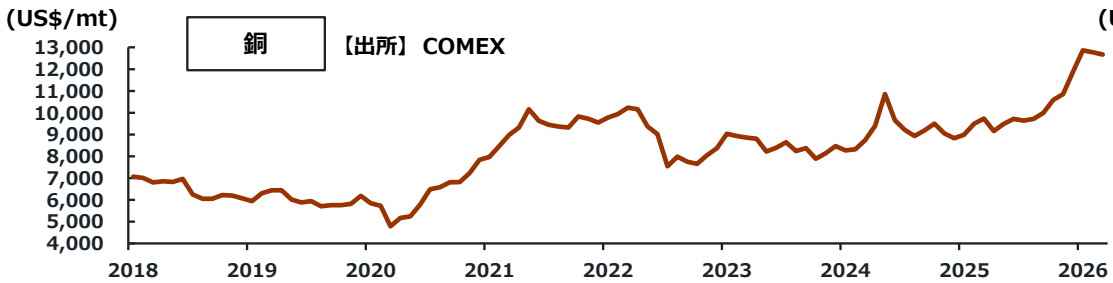


### 油圧ショベル 需要推移 (レンタル/一般向け)



## <建設機械・車両> 主要鉱物の価格推移と見通し

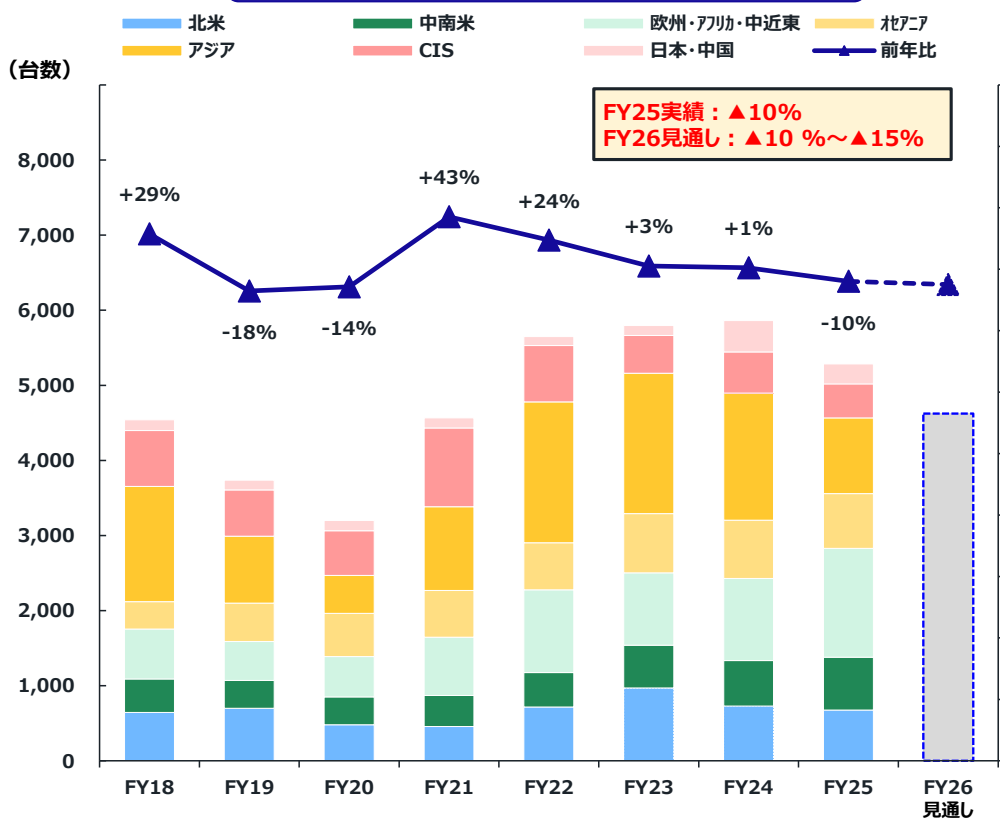
- ・銅/金は、長期的に見ると高値の水準を維持。
- ・鉄鉱石/原料炭は、安定的な需要が見込まれ、価格も安定して推移。
- ・燃料炭は、低品位炭、高品位炭ともに中東情勢による原油価格の高騰に伴い足元では上昇傾向。



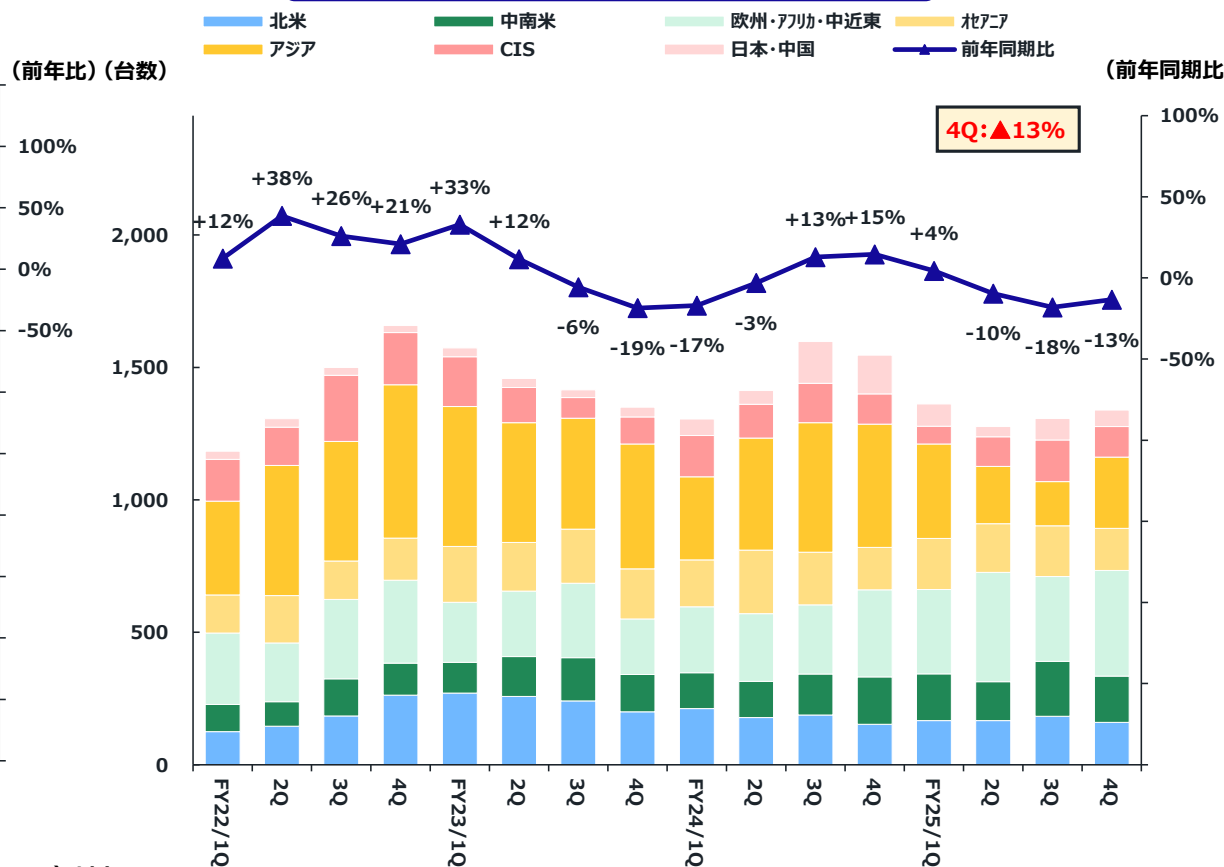
# ＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要推移と見通し

- ・2025年度の需要は、前年比▲10%の減少。
- ・2026年度の需要は、前年比▲10%～▲15%の見通し。

### 鉱山機械 年度別需要推移



### 鉱山機械 四半期別需要推移



【出所】 コマツの推定

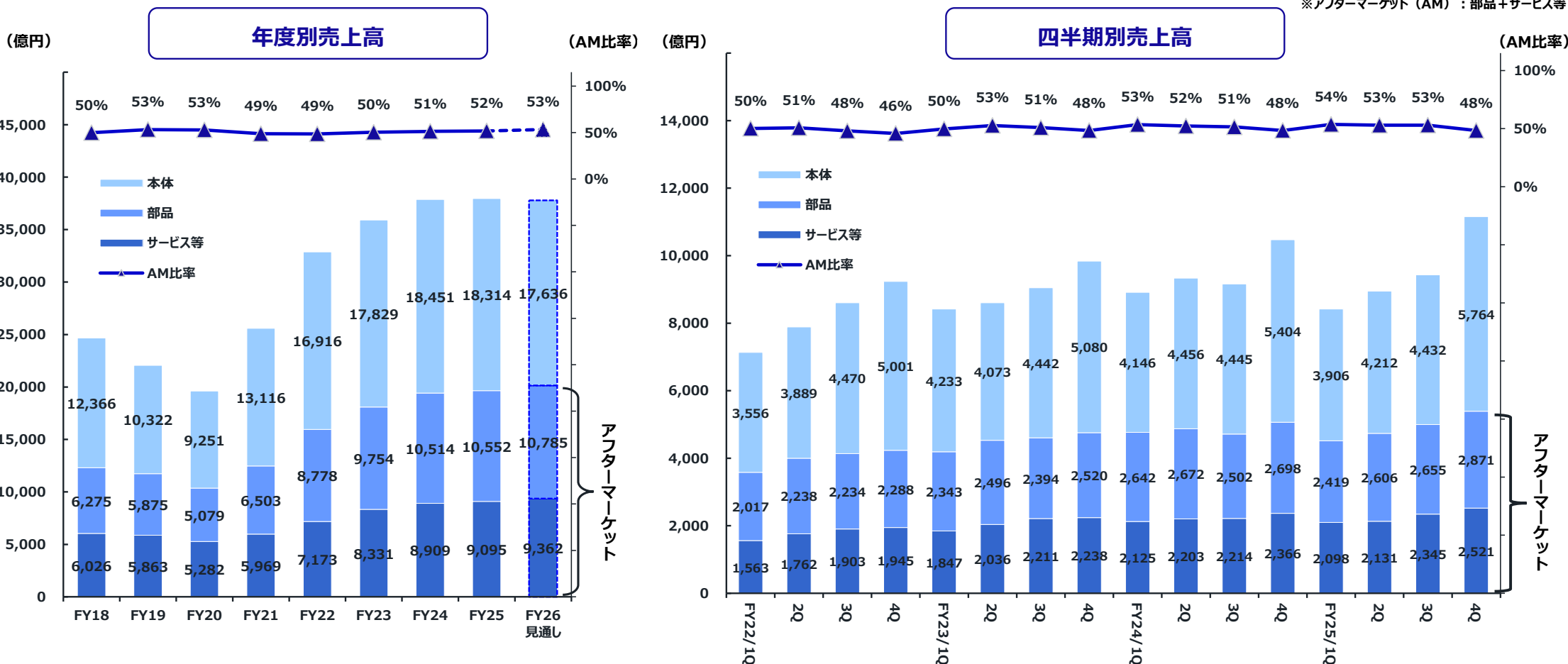
- ・ダンプトラック：75 t (HD785) 以上
- ・エクスカバレータ：200 t (PC2000) 以上
- ・モーターレーダ：280HP (GD825) 以上
- ・ブルドーザ：525HP (D375) 以上
- ・ホイールダ：810HP (WA800) 以上



# 〈建設機械・車両〉 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）の見通し

- ・2025年度の部品売上高は、前年比+0.4%増収の1兆552億円。サービス等をあわせたアフターマーケット比率（AM比率）は52%。
- ・2026年度の部品売上高は、前年比+2.2%増収の1兆785億円の見通し。サービス等をあわせたアフターマーケット比率は53%の見通し。

※アフターマーケット（AM）：部品+サービス等



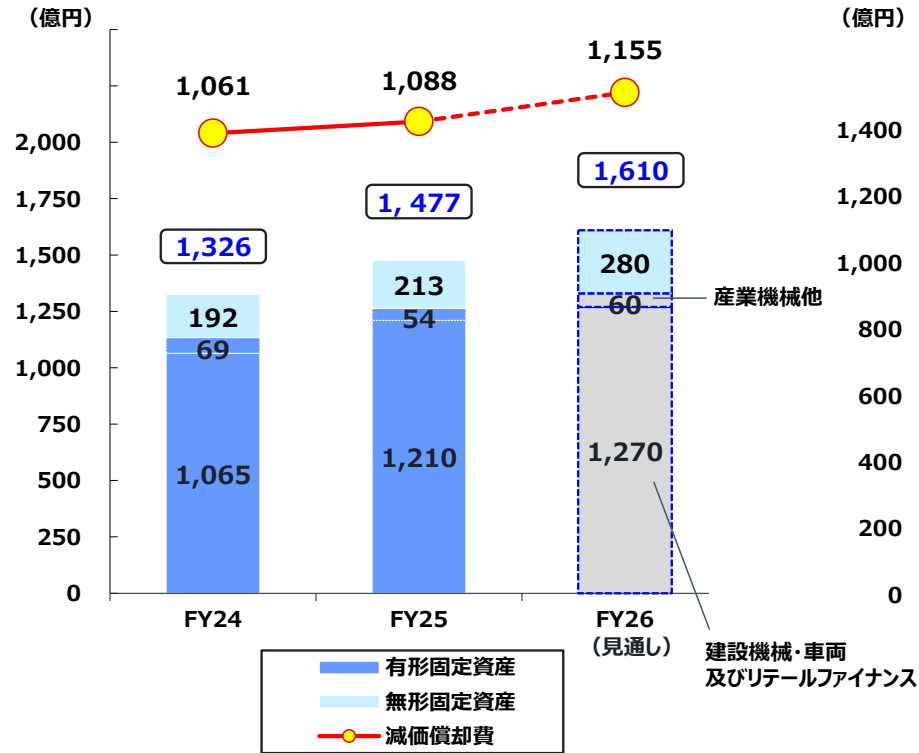


# 設備投資・減価償却費・研究開発費・固定費の見通し

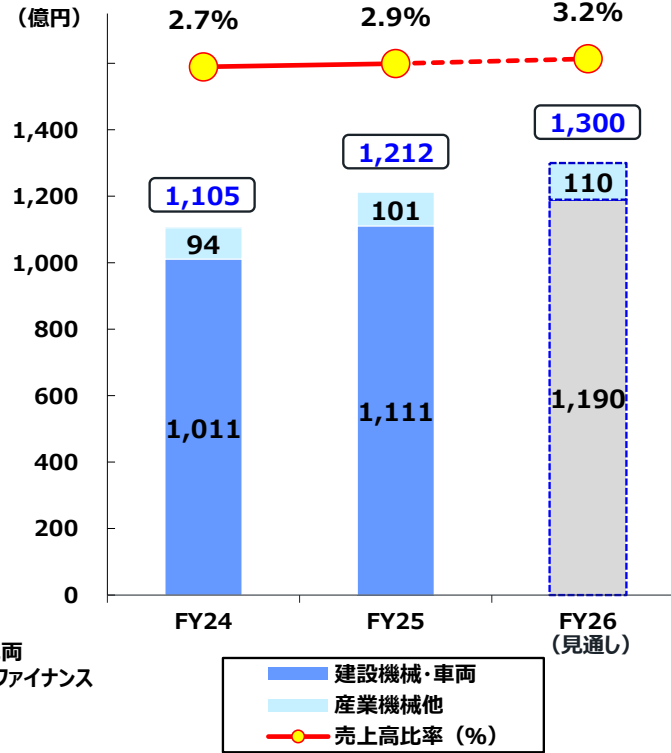
- ・設備投資は、主に生産拠点や販売拠点に対する投資、本社建て替えにより、前年比増加の見通し。
- ・研究開発費は、多様な動力源への対応や自動化等への重点投資により、前年比増加の見通し。
- ・固定費は、構造改革の効果を織込むも、賃上げによる人件費の増加や研究開発費の増加により、前年比増加の見通し。

## 設備投資\* および減価償却費

\*レンタル資産投資は含まず

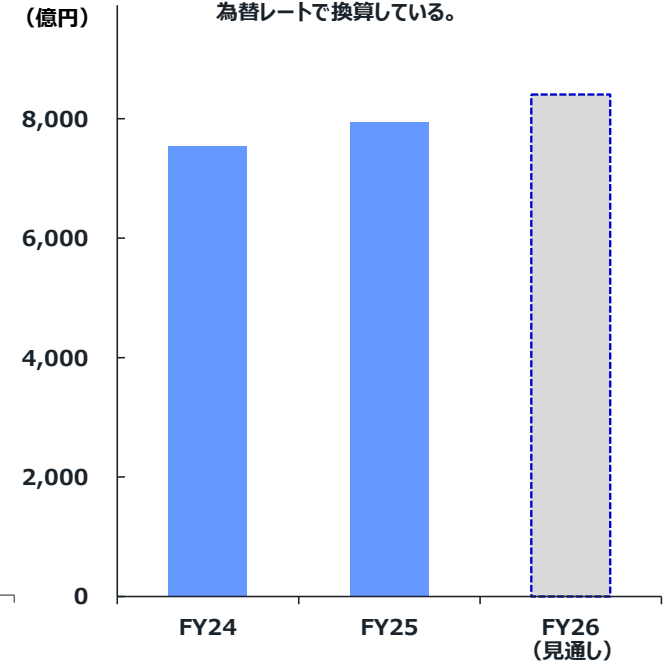


## 研究開発



## 固定費\*

\*FY24、FY25実績は、FY26見通しの為替レートで換算している。



## 参考資料

## 【参考資料】2025年度 第4四半期（1-3月）決算の概況

- ・売上高は、前年同期比+6.1%増収の1兆2,173億円。
- ・営業利益は、前年同期比▲22.4%減益の1,483億円。売上高営業利益率は、▲4.5ポイント低下し12.2%。
- ・純利益は、前年同期比▲17.7%減益の1,066億円。

金額単位：億円	2025年1-3月 ¥154.7/USD ¥159.4/EUR ¥95.7/AUD	2026年1-3月 ¥156.4/USD ¥184.2/EUR ¥108.0/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	11,471	12,173	+701	+6.1%
セグメント利益	1,959	1,513	▲ 446	▲22.8%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 48	▲ 30	+19	-
営業利益	1,911	1,483	▲ 428	▲22.4%
売上高営業利益率	16.7%	12.2%	▲ 4.5ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 144	▲ 60	+84	-
税引前四半期純利益	1,766	1,423	▲ 343	▲19.4%
当社株主に帰属する四半期純利益	1,295	1,066	▲ 230	▲17.7%

## 【参考資料】2025年度 第4四半期（1-3月）の各セグメント売上高と利益

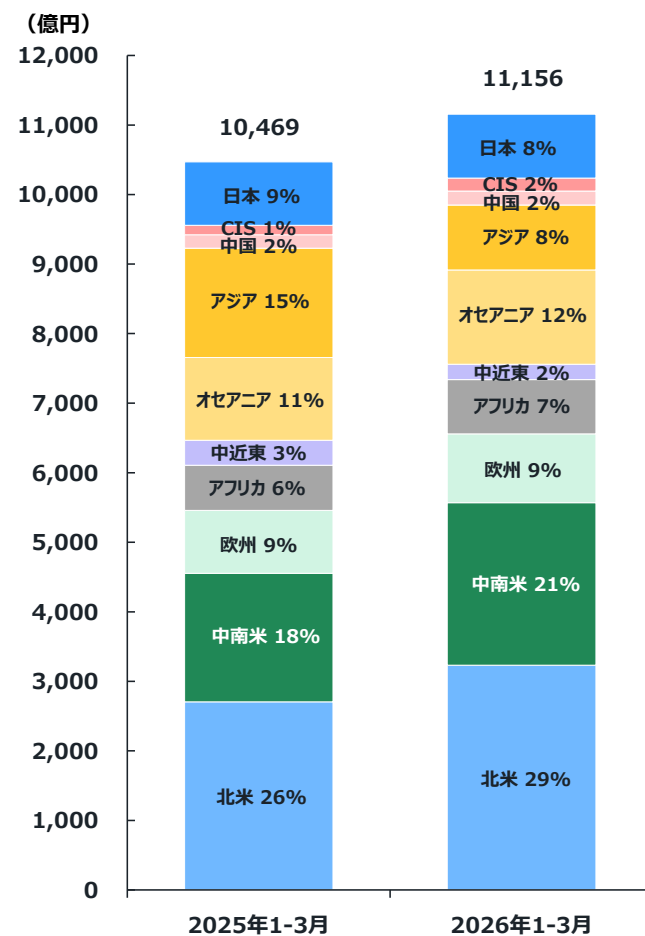
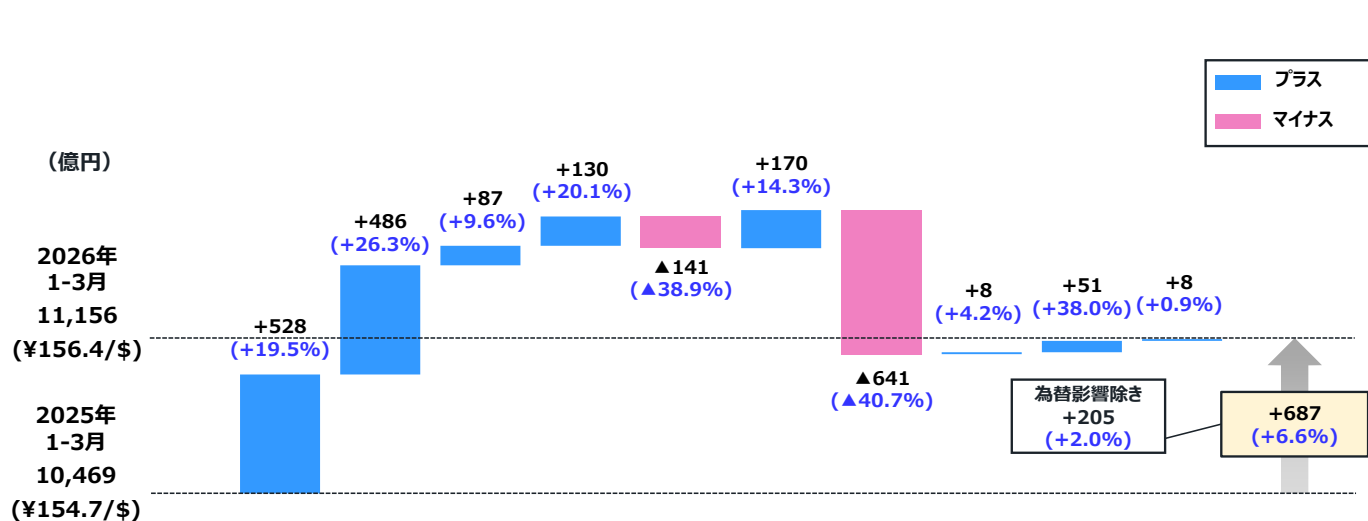
- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+6.5%増収の1兆1,180億円。セグメント利益は、前年同期比▲26.1%減益の1,285億円。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+6.0%増収の331億円。セグメント利益は、前年同期比+39.5%増益の106億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比▲1.2%減収の760億円。セグメント利益は、前年同期比▲13.7%減益の106億円。

金額単位：億円	2025年1-3月		2026年1-3月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	11,471		12,173		+701		+6.1%	
建設機械・車両	(10,469)	10,499	(11,156)	11,180	(+687)	+682	(+6.6%)	+6.5%
リテールファイナンス	(246)	312	(266)	331	(+20)	+19	(+8.0%)	+6.0%
産業機械他	(756)	769	(750)	760	(▲6)	▲9	(▲0.7%)	▲1.2%
消去	▲109		▲99		+10		-	
セグメント利益	17.1%	1,959	12.4%	1,513	▲4.7ポイント	▲446	▲22.8%	
建設機械・車両	16.6%	1,739	11.5%	1,285	▲5.1ポイント	▲454	▲26.1%	
リテールファイナンス	24.4%	76	32.1%	106	+7.7ポイント	+30	+39.5%	
産業機械他	16.0%	123	14.0%	106	▲2.0ポイント	▲17	▲13.7%	
消去または全社	21		15		▲5		-	

□ : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

# 【参考資料】 <建設機械・車両> 2025年度 第4四半期（1-3月）の地域別売上高（外部顧客向け）

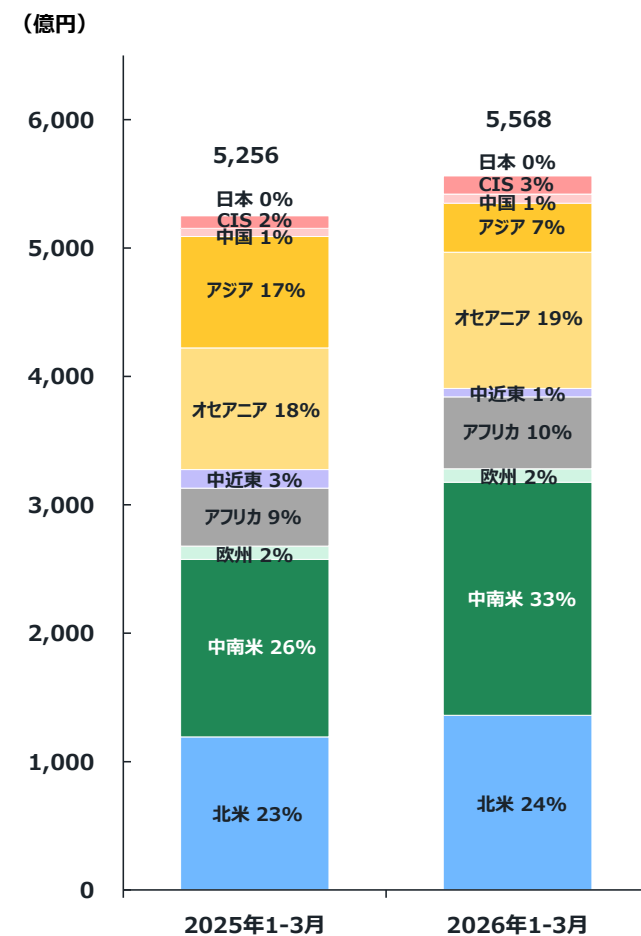
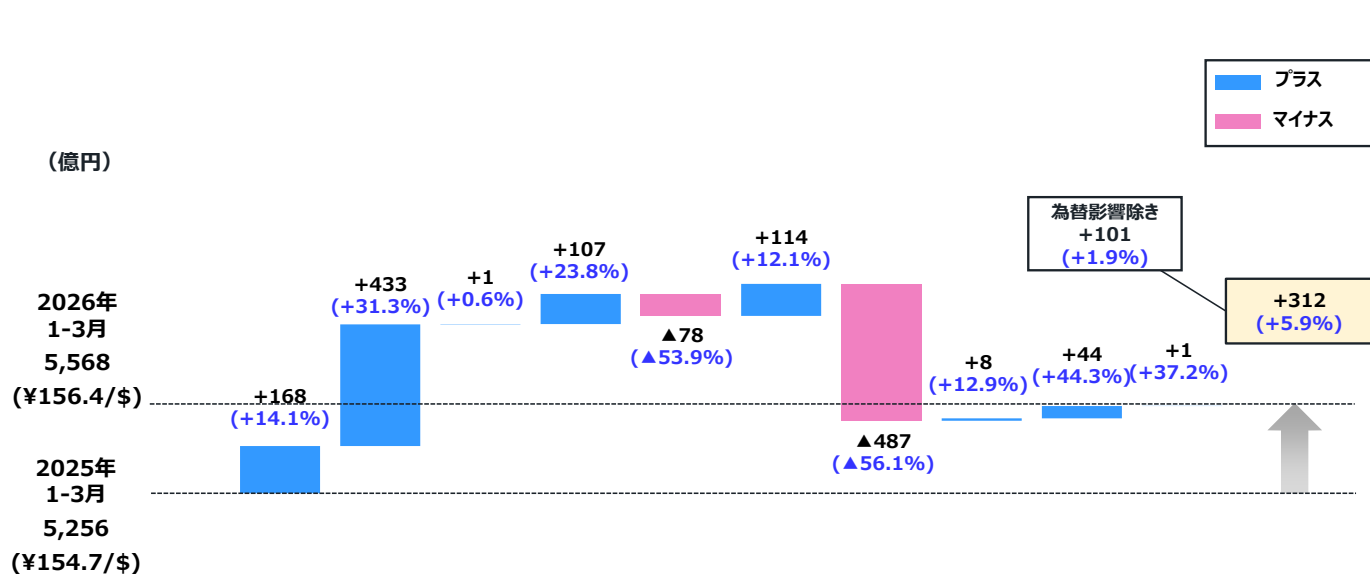
・外部顧客向け売上高は、前年同期比+6.6%増収の1兆1,156億円。



(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア アジア CIS				日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2025年 1-3月	2,705	1,849	905	649	361	1,187	1,574	193	135	912	10,469
2026年 1-3月	3,233	2,335	991	779	221	1,357	933	202	186	920	11,156
増減	+528	+486	+87	+130	▲141	+170	▲641	+8	+51	+8	+687
増減 (為替影響除き)	+486	+446	▲38	+40	▲148	+28	▲649	▲2	+32	+8	+205

# 【参考資料】（鉱山機械） 2025年度 第4四半期（1-3月）の地域別売上高（外部顧客向け）

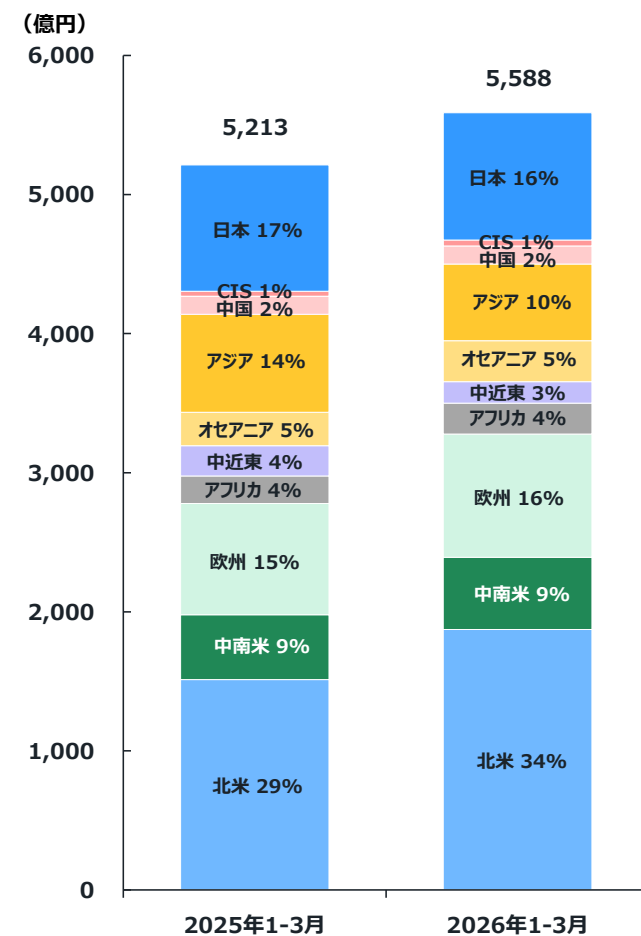
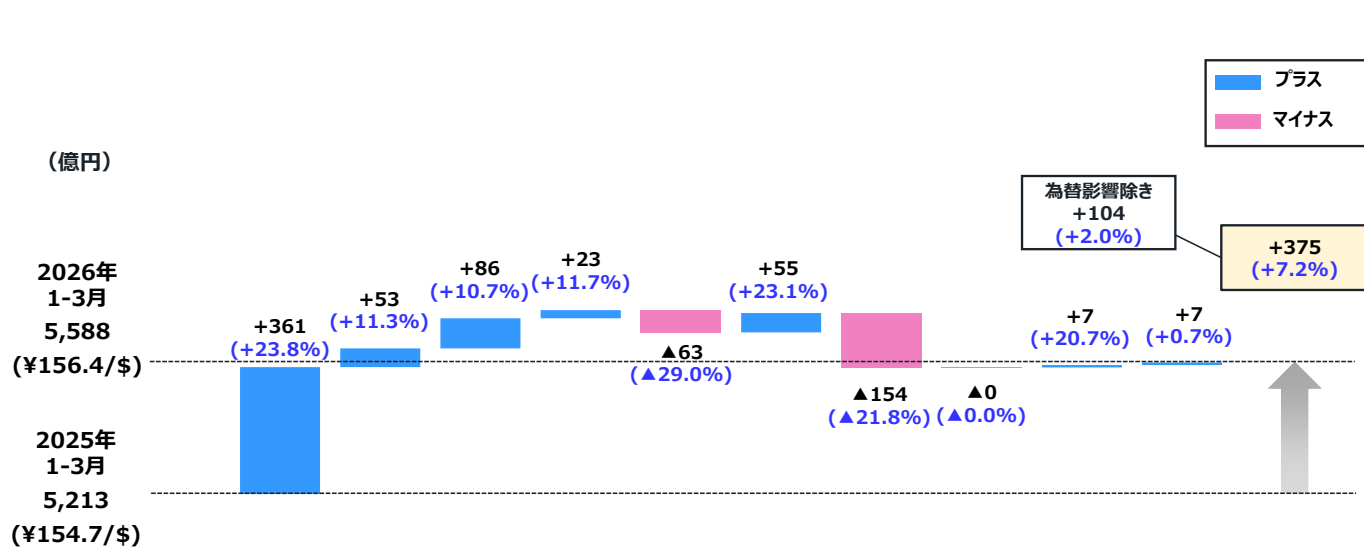
・外部顧客向け売上高は、前年同期比+5.9%増収の5,568億円。



(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア		アジア	CIS	日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2025年 1-3月	1,192	1,383	103	451	144	947	868	63	99	4	5,256
2026年 1-3月	1,360	1,817	104	559	66	1,061	382	72	142	5	5,568
増減	+168	+433	+1	+107	▲78	+114	▲487	+8	+44	+1	+312
増減 (為替影響除き)	+153	+413	▲6	+64	▲78	+5	▲487	+6	+29	+1	+101

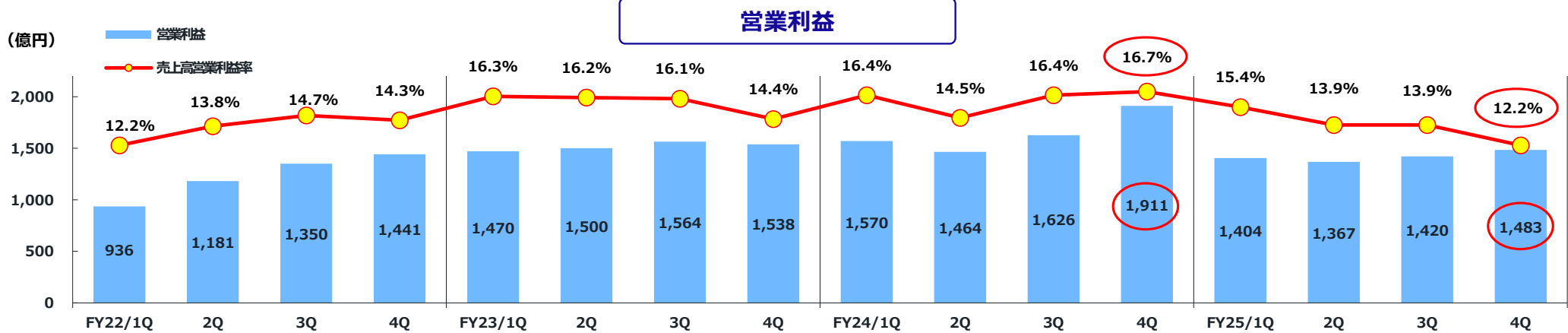
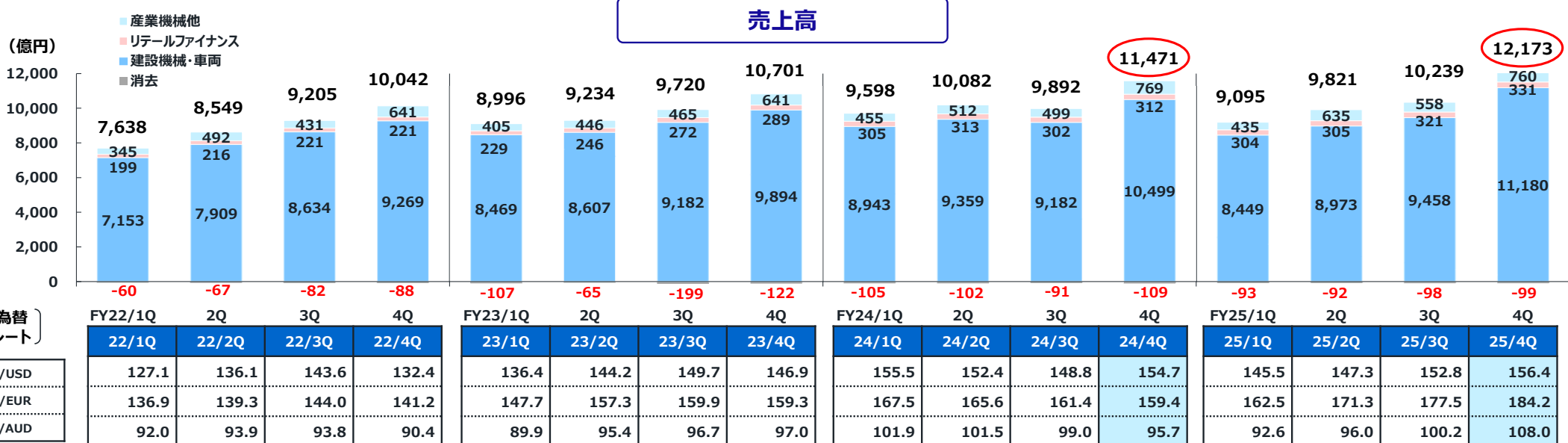
# 【参考資料】（一般建機） 2025年度 第4四半期（1-3月）の地域別売上高（外部顧客向け）

・外部顧客向け売上高は、前年同期比+7.2%増収の5,588億円。



(億円)	米州		欧州	アフリカ	中近東	オセアニア		アジア	CIS	日本	合計
	北米	中南米	欧州	アフリカ	中近東	オセアニア	アジア	中国	CIS		
2025年 1-3月	1,512	466	801	197	217	240	705	130	36	909	5,213
2026年 1-3月	1,873	519	887	220	154	295	551	130	43	915	5,588
増減	+361	+53	+86	+23	▲63	+55	▲154	▲0	+7	+7	+375
増減 (為替影響除き)	+333	+33	▲31	▲24	▲70	+23	▲161	▲8	+3	+7	+104

# 【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

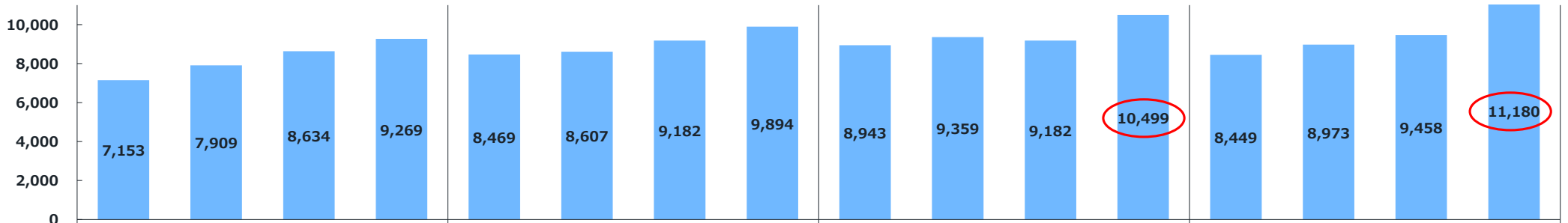




# 【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

(億円)

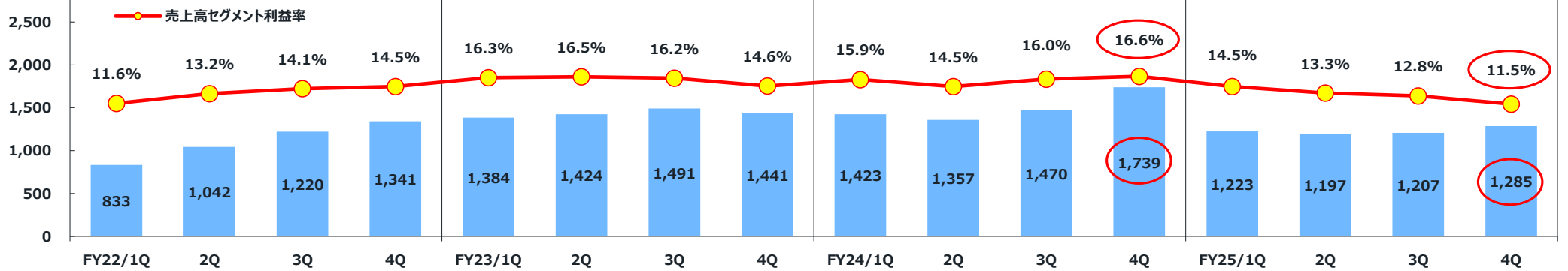


為替  
レート

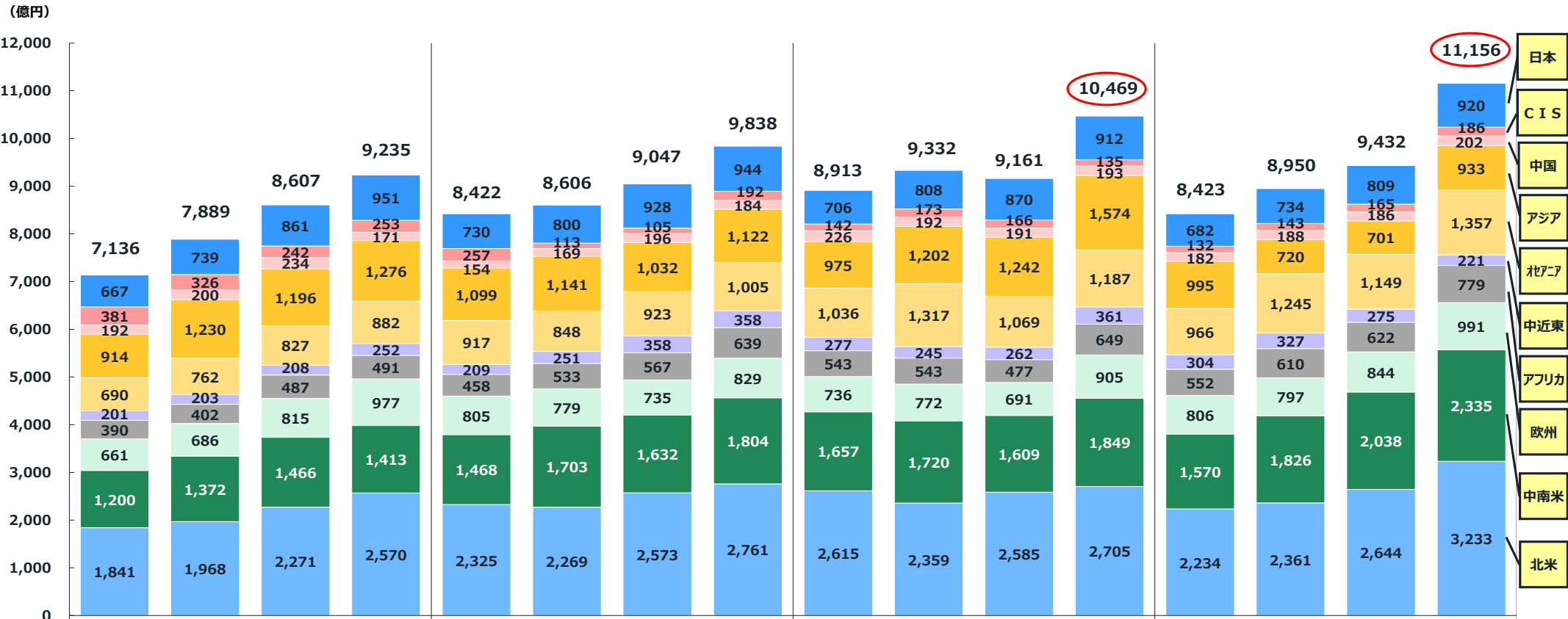
	FY22/1Q				FY23/1Q				FY24/1Q				FY25/1Q			
	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q	25/1Q	25/2Q	25/3Q	25/4Q
¥/USD	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	154.7	145.5	147.3	152.8	156.4
¥/EUR	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	159.4	162.5	171.3	177.5	184.2
¥/AUD	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	95.7	92.6	96.0	100.2	108.0

セグメント利益

(億円)



# 【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）



為替  
レート

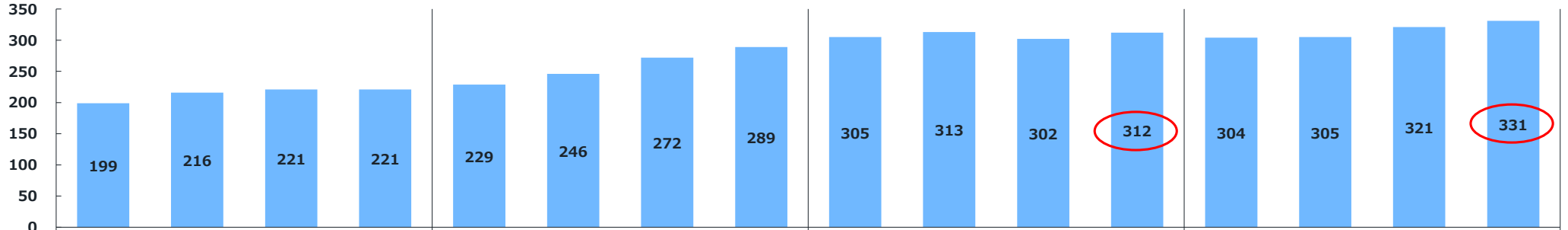
	FY22/1Q				FY23/1Q				FY24/1Q				FY25/1Q			
	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q	25/1Q	25/2Q	25/3Q	25/4Q
¥/USD	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	154.7	145.5	147.3	152.8	156.4
¥/EUR	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	159.4	162.5	171.3	177.5	184.2
¥/AUD	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	95.7	92.6	96.0	100.2	108.0



# 【参考資料】 <リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

(億円)

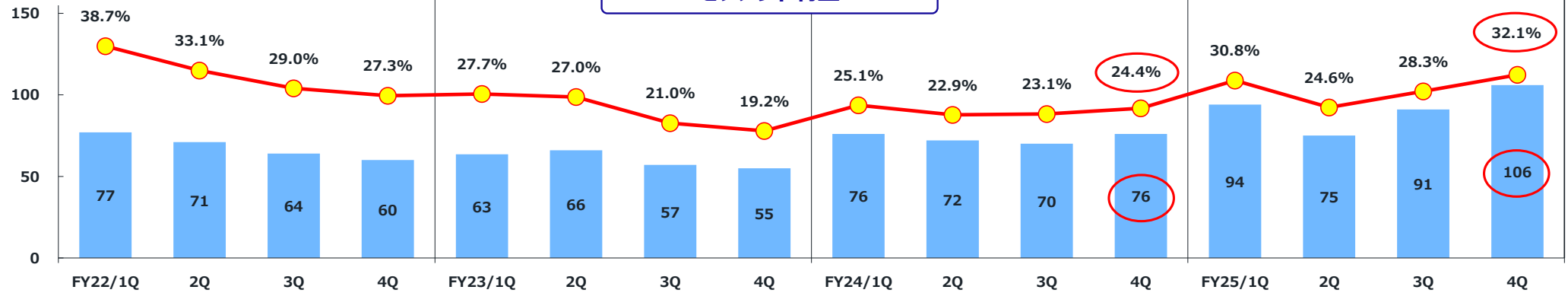


為替  
レート

	FY22/1Q				FY23/1Q				FY24/1Q				FY25/1Q			
	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q	25/1Q	25/2Q	25/3Q	25/4Q
¥/USD	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	154.7	145.5	147.3	152.8	156.4
¥/EUR	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	159.4	162.5	171.3	177.5	184.2
¥/AUD	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	95.7	92.6	96.0	100.2	108.0

セグメント利益

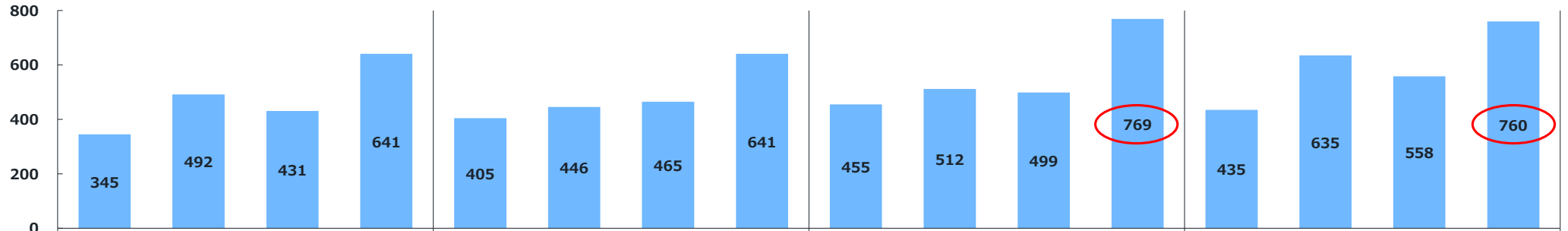
(億円)



# 【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

(億円)

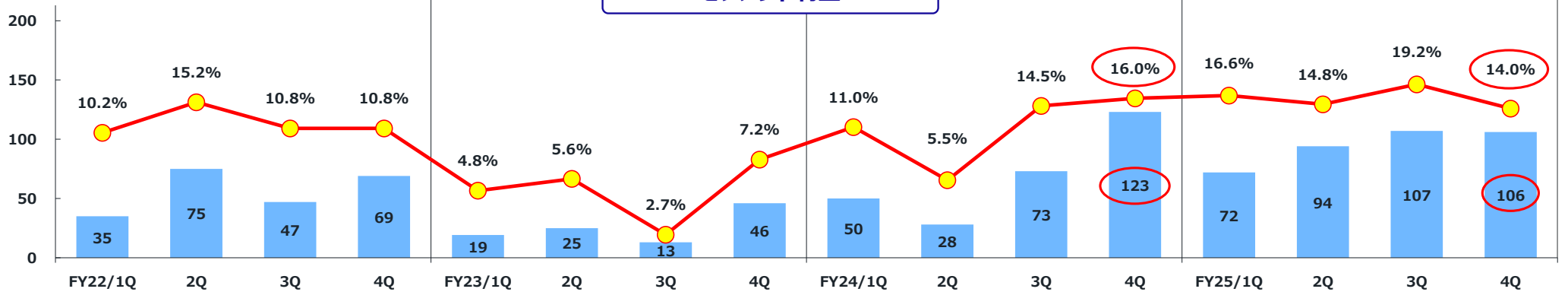


為替  
レート

	FY22/1Q				FY23/1Q				FY24/1Q				FY25/1Q			
	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	23/2Q	23/3Q	23/4Q	24/1Q	24/2Q	24/3Q	24/4Q	25/1Q	25/2Q	25/3Q	25/4Q
¥/USD	127.1	136.1	143.6	132.4	136.4	144.2	149.7	146.9	155.5	152.4	148.8	154.7	145.5	147.3	152.8	156.4
¥/EUR	136.9	139.3	144.0	141.2	147.7	157.3	159.9	159.3	167.5	165.6	161.4	159.4	162.5	171.3	177.5	184.2
¥/AUD	92.0	93.9	93.8	90.4	89.9	95.4	96.7	97.0	101.9	101.5	99.0	95.7	92.6	96.0	100.2	108.0

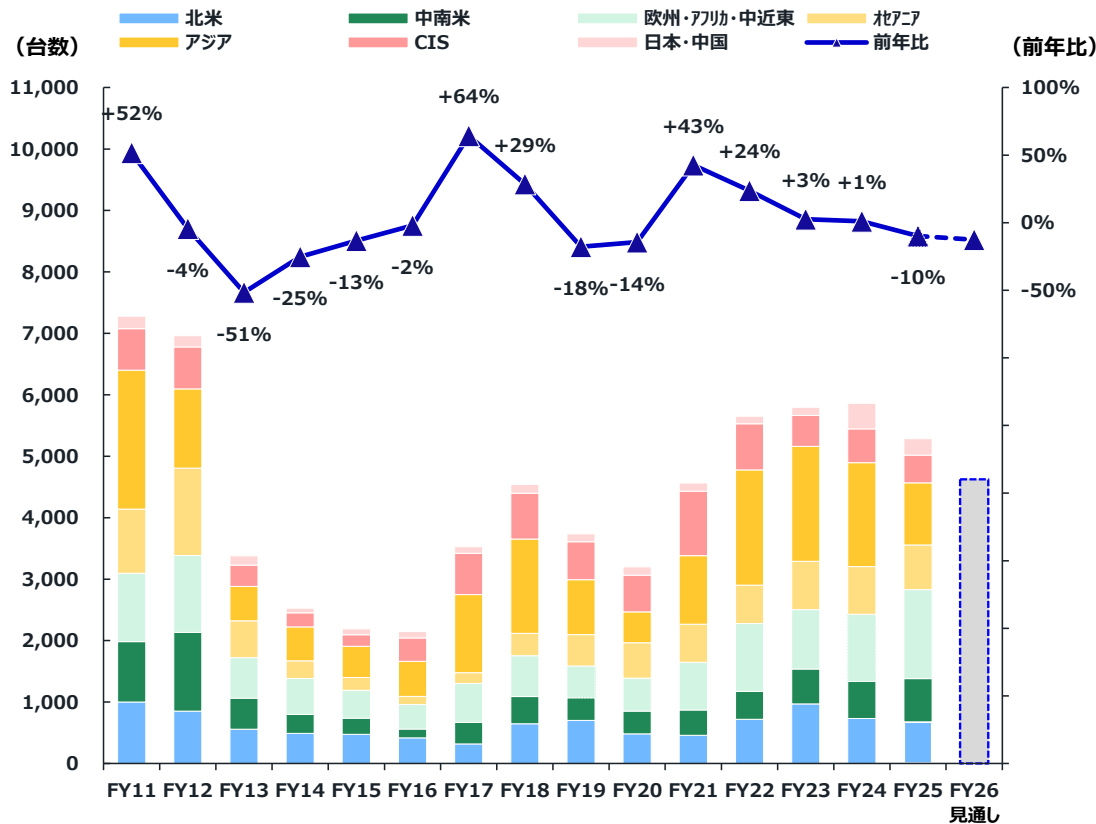
セグメント利益

(億円)

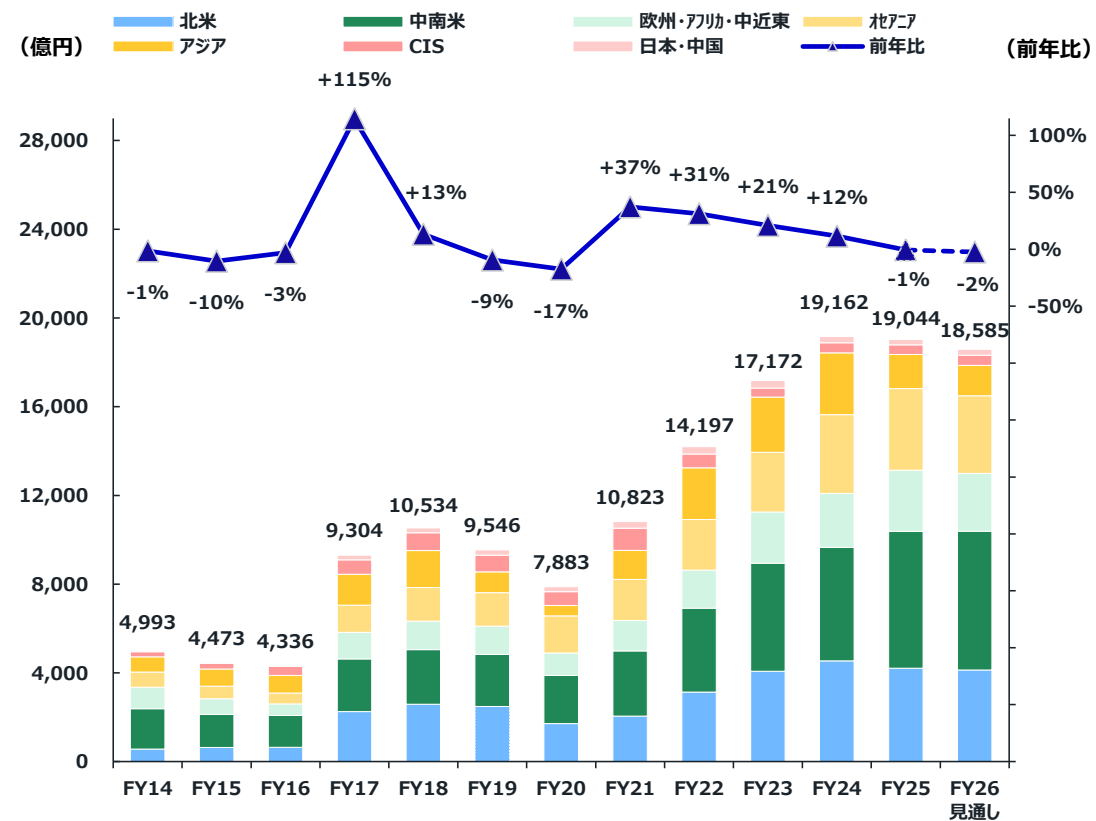


# 【参考資料】 <建設機械・車両> 鉱山機械の需要・売上高の推移と見通し

鉱山機械 年度別需要推移



鉱山機械 年度別売上高 (部品・サービス等含む)

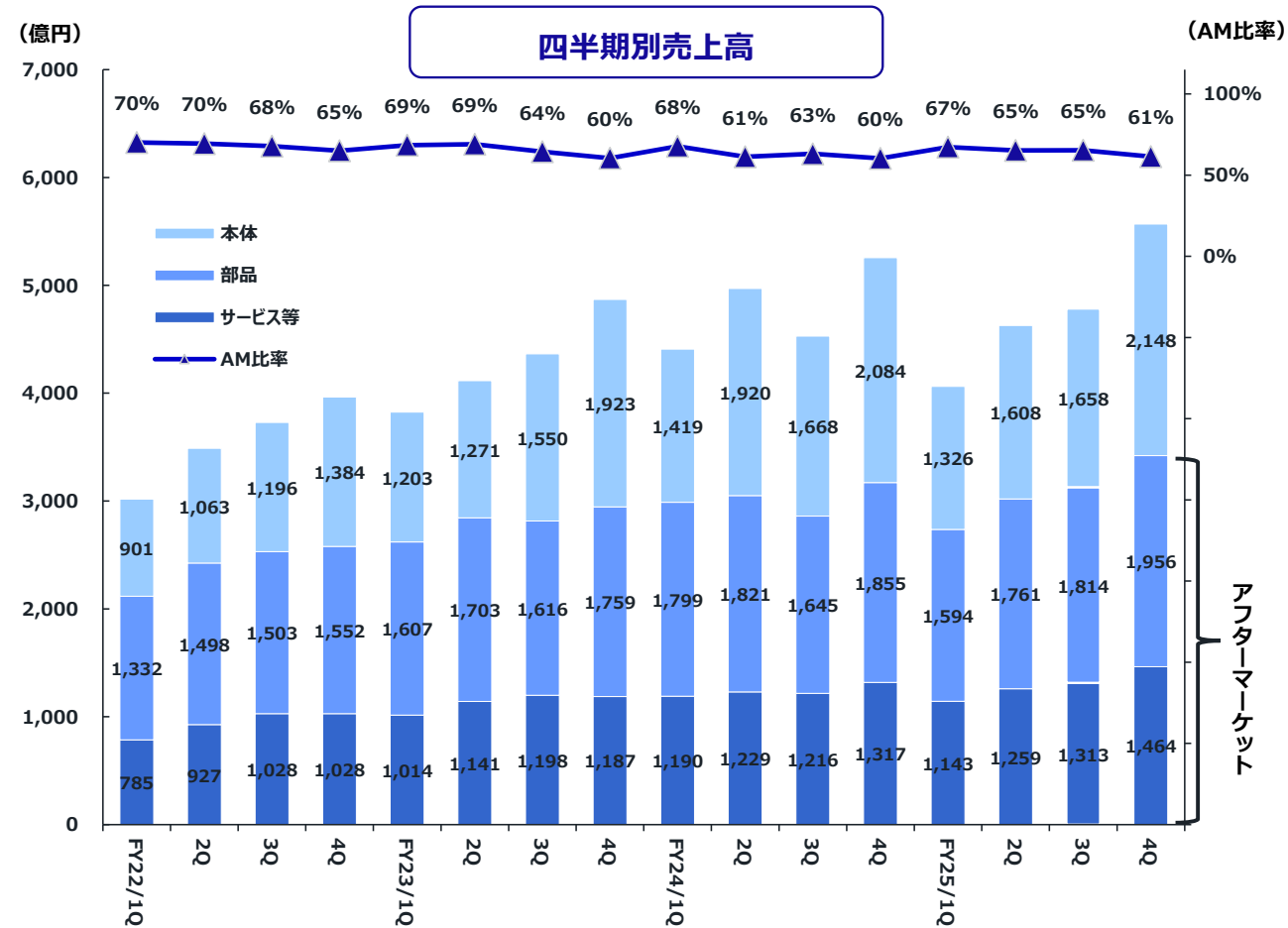
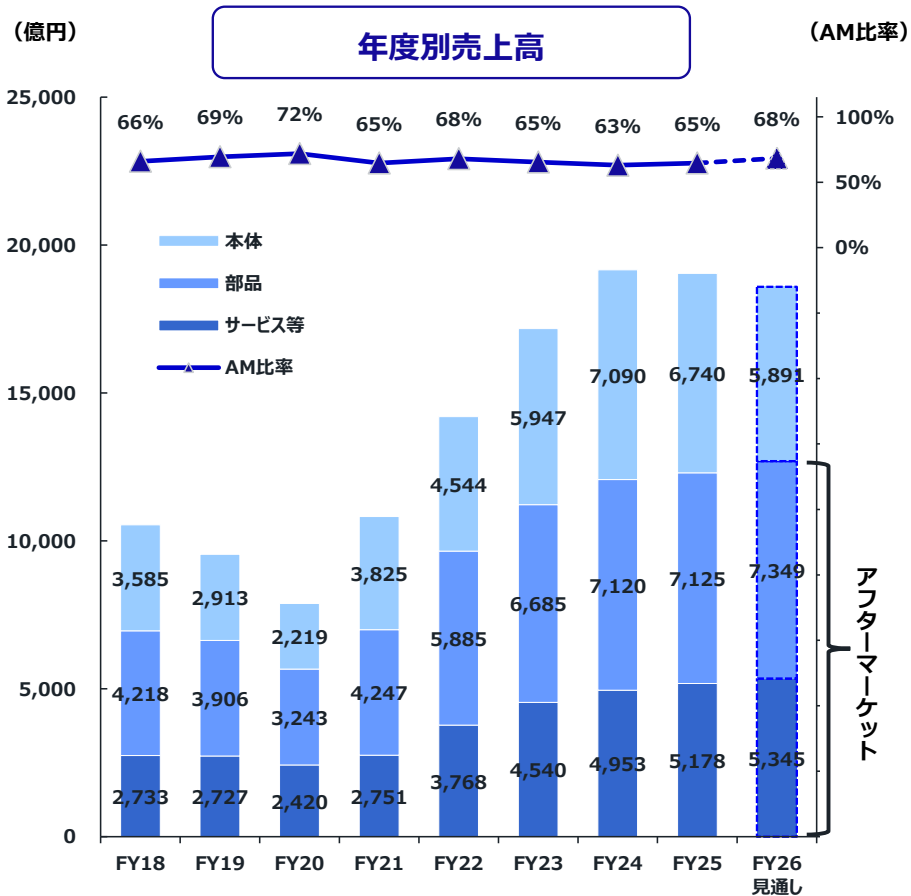


【出所】 コマツの推定

- ・タンクトラック：75 t (HD785) 以上
- ・トラック：200 t (PC2000) 以上
- ・モーターレーダー：280HP (GD825) 以上
- ・アルターダー：525HP (D375) 以上
- ・ホイラー：810HP (WA800) 以上

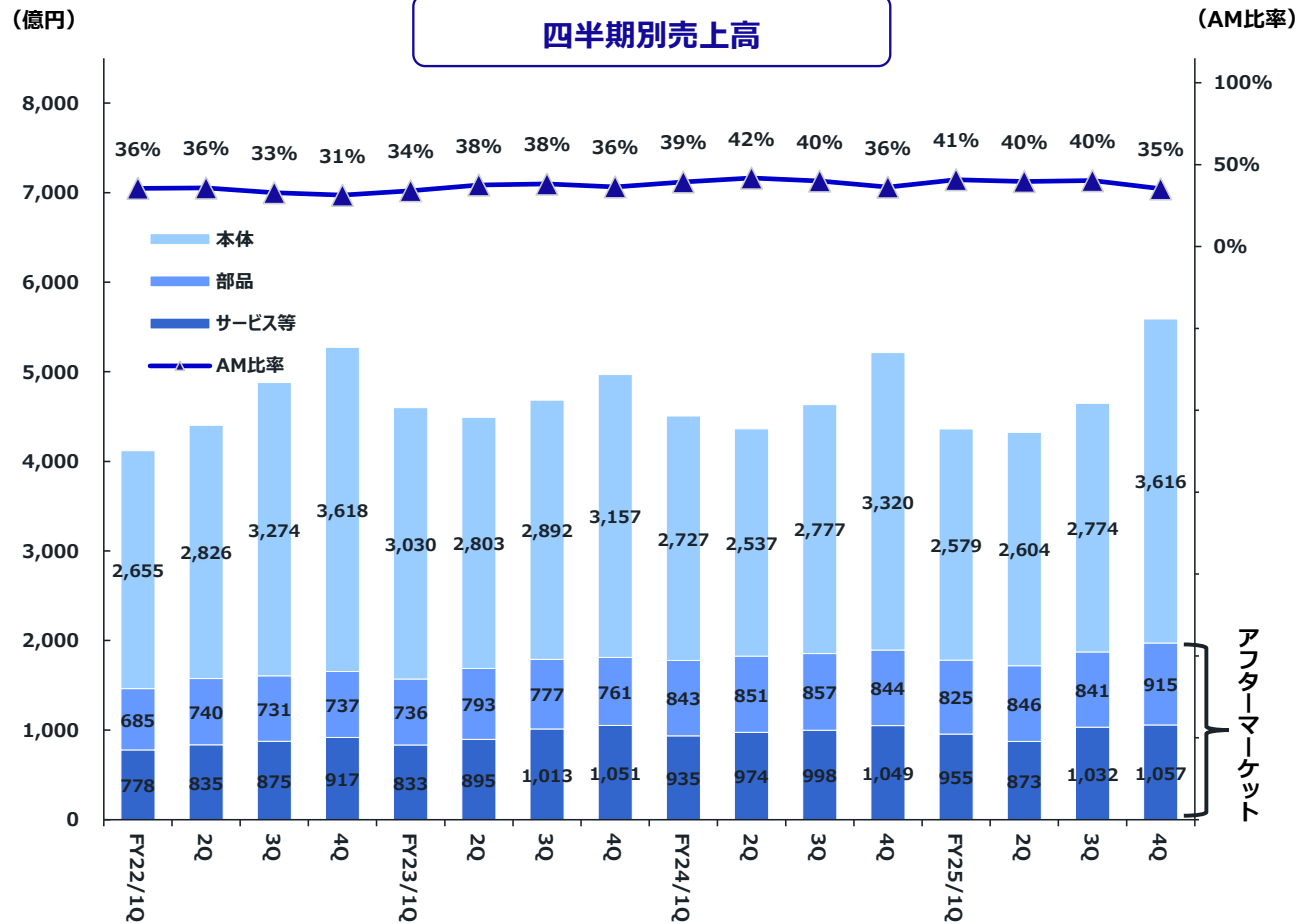
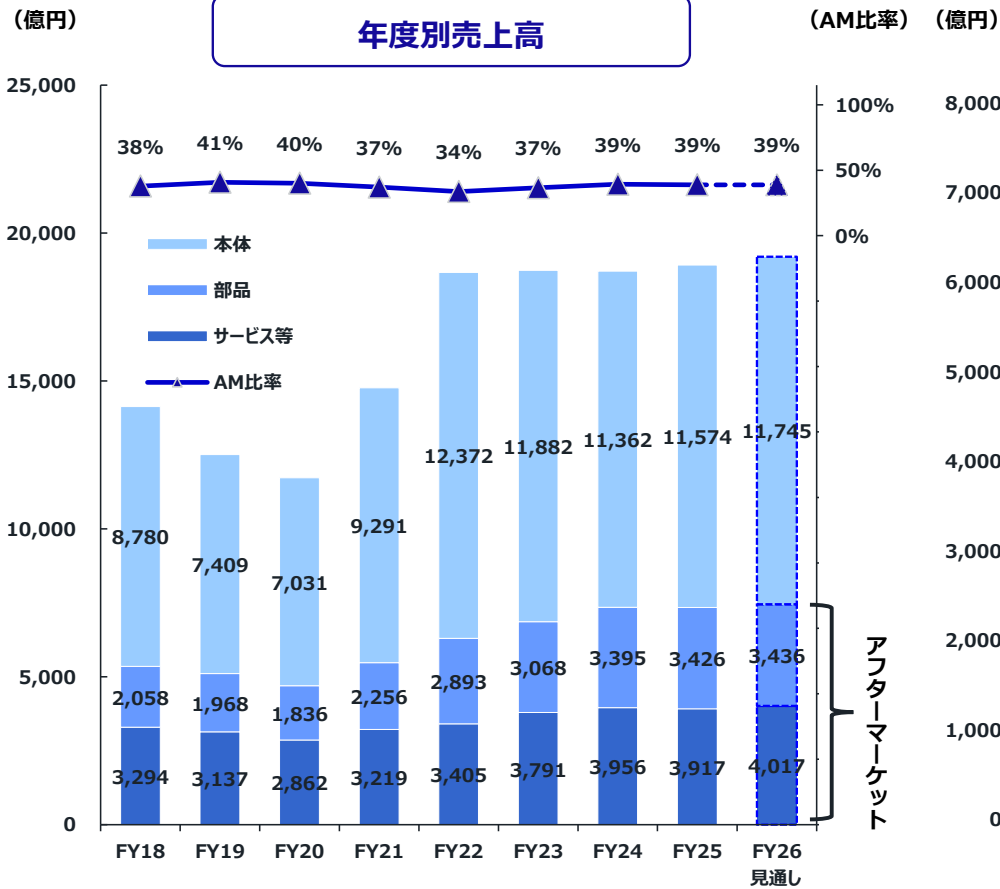
# 【参考資料】 <鉱山機械> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

※アフターマーケット（AM）：部品+サービス等



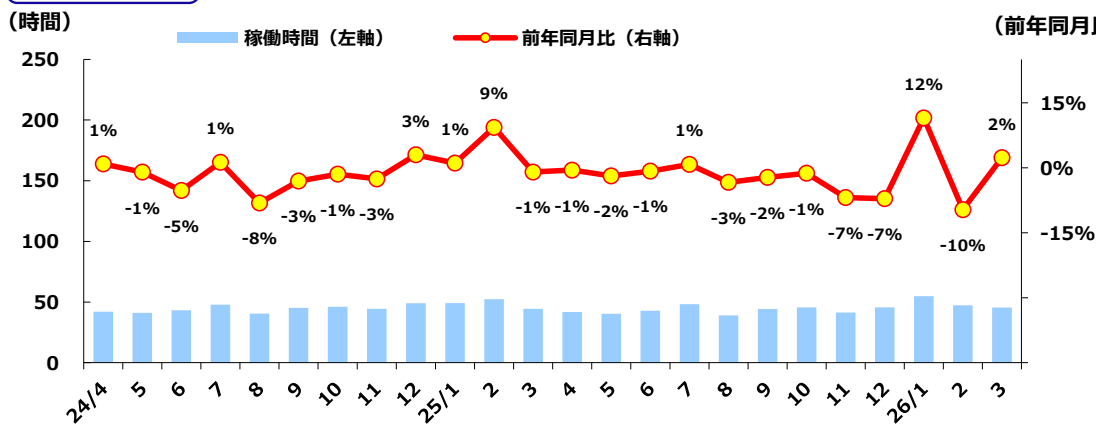
# 【参考資料】 <一般建機> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）

※アフターマーケット（AM）：部品+サービス等

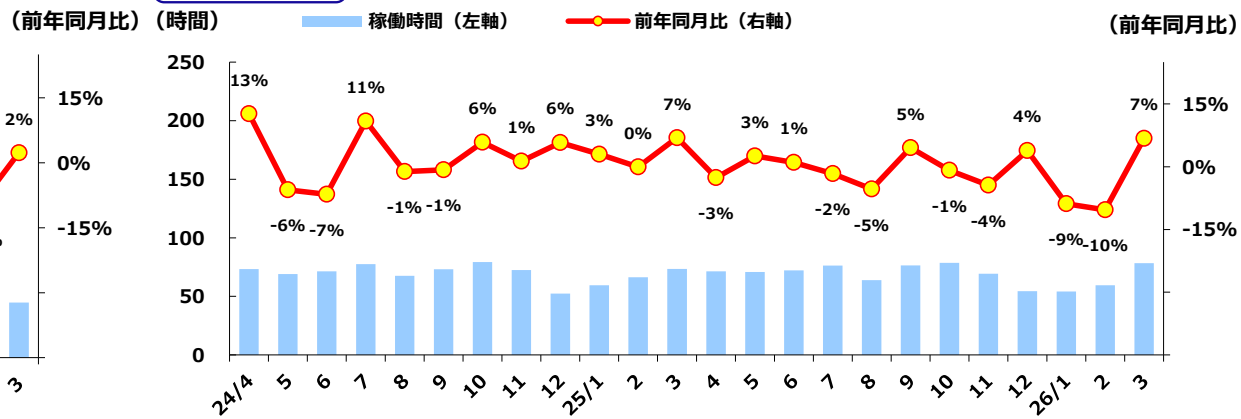


# 【参考資料】Komtrax 月平均稼働時間推移

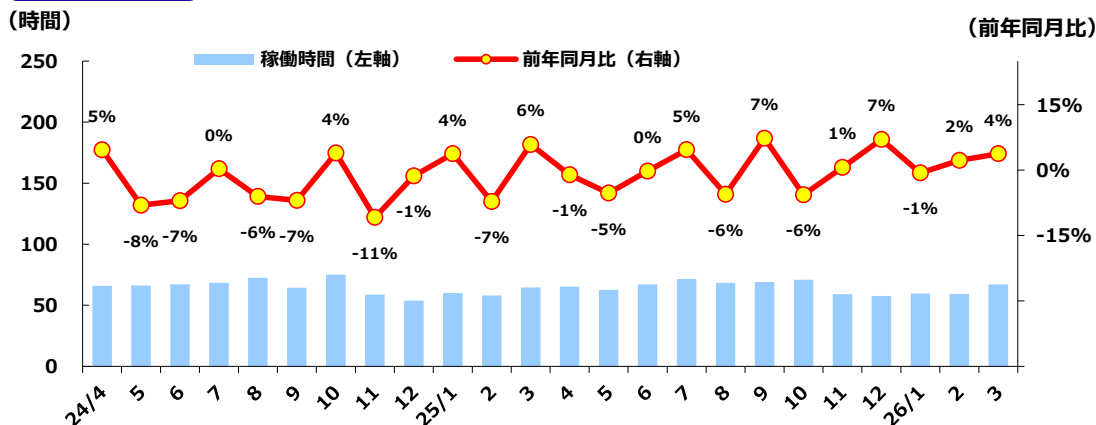
## 日本



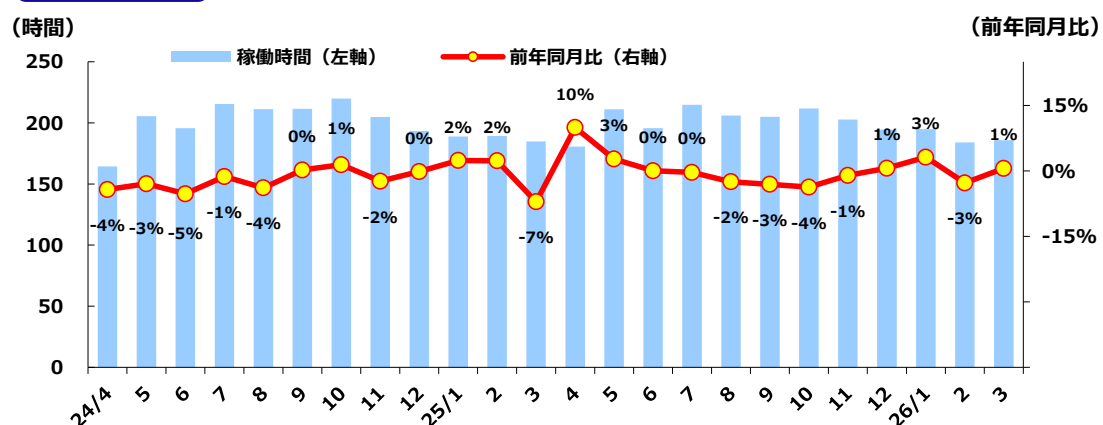
## 欧州



## 北米



## インドネシア

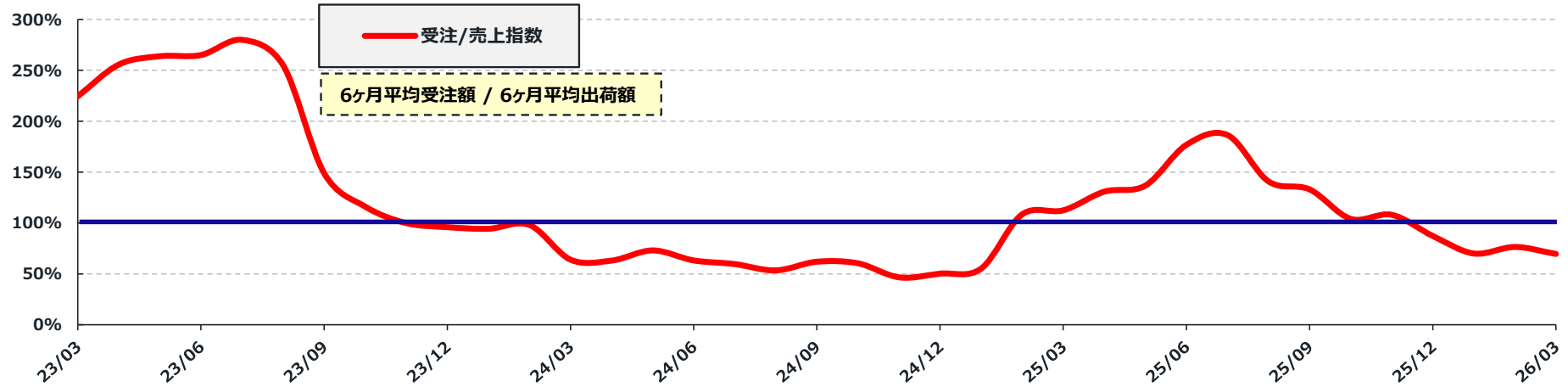




# 【参考資料】Bブレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

## コマツアメリカ (マイニング)

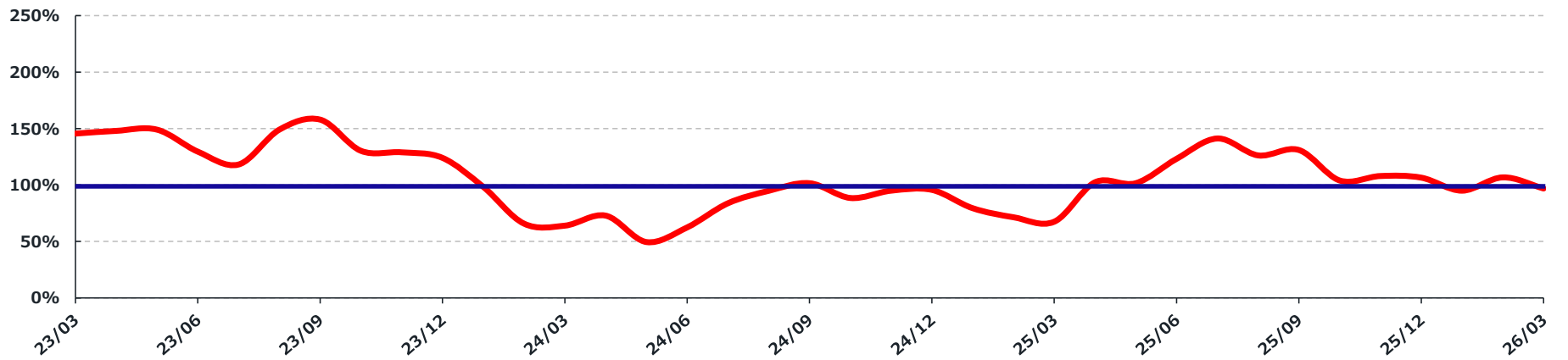
730E,830E,860E  
930E,960E,980E



## KMC (マイニング)

<露天掘り>  
ロープショベル  
ブラストホールドリル  
ドラグライン他

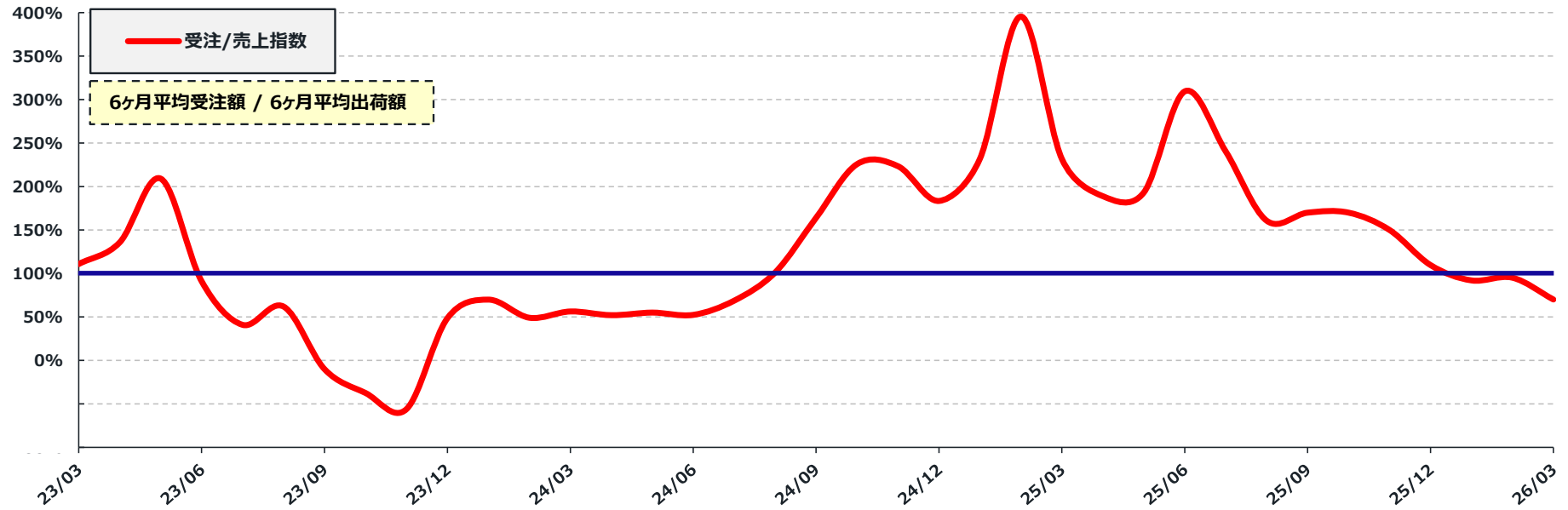
<坑内掘り>  
コンティニューアスマイナ  
シアラー  
ロードホールダンブ  
ジャンボドリル他



# 【参考資料】Bレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

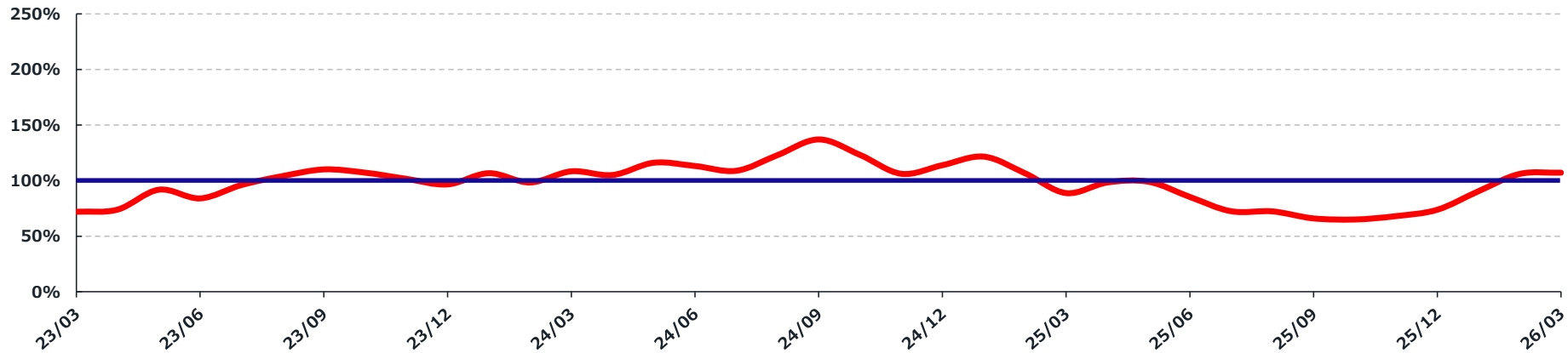
## コマツドイツ (マイニング)

PC3000,PC4000  
PC5500,PC7000  
PC8000,PC9000



## コマツ単独 (マイニング)

HD785,HD1500  
PC2000,PC3400  
WA800 up  
D375A up  
GD825A up



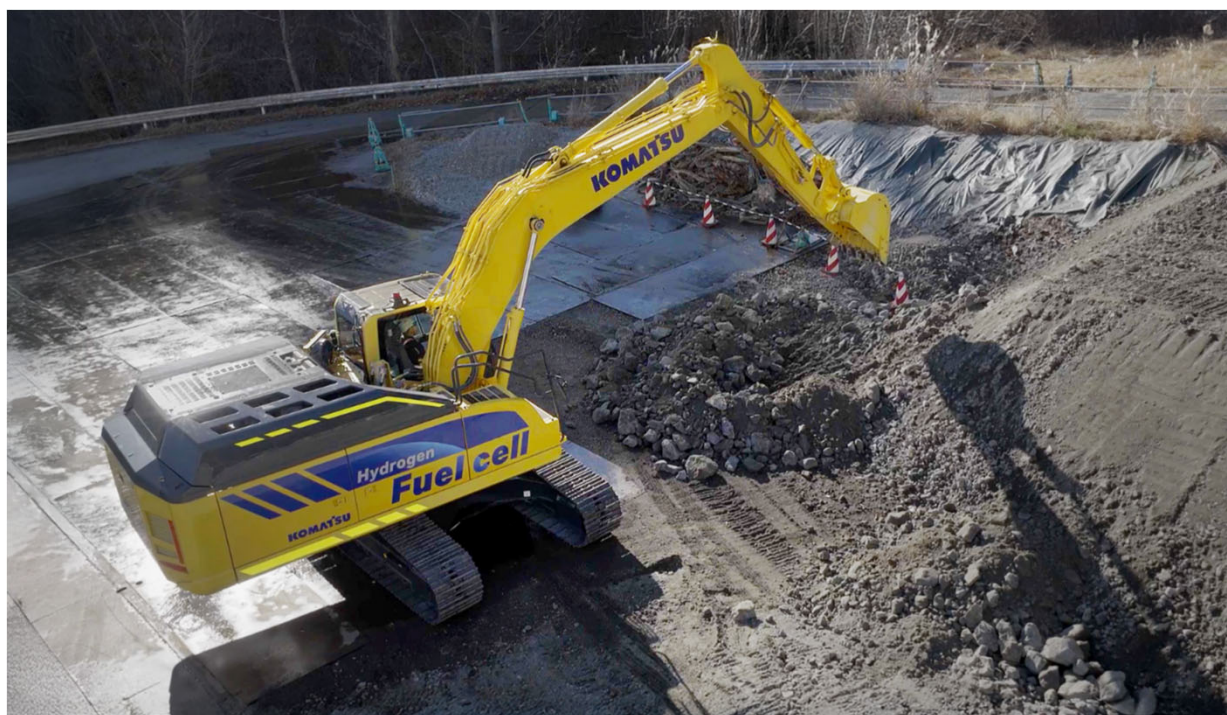
## 米国SRC of Lexington社のリマニュファクチャリング事業を買収

100%子会社であるコマツアメリカ株式会社を通じて、SRC of Lexington社の建設・鉱山機械用コンポーネント・部品のリマニュファクチャリング（リマン）事業を買収しました。



## 建設現場において水素燃料電池搭載油圧ショベルの実証実験を実施

株式会社大林組、岩谷産業株式会社およびコマツは、2025年12月に国内建設現場において水素燃料電池を搭載した中型油圧ショベル（FCショベル）の実証実験を実施しました。



# CONEXPO-CON/AGG 2026に出展

米国ラスベガスで開催された国際的な建設機械見本市「CONEXPO-CON/AGG 2026」に出展しました。



<デジタルソリューション>



<新世代ブルドーザ D175AX-10>



<新世代油圧ショベル PC158USLCi-12>



<新世代アーティキュレートダンプトラックHM460-6>

## -循環型林業プロセス全体での価値創造を拡大- スウェーデンの軽量・小型林業機械メーカーMalwa Forest社を買収

100%子会社であるコマツフォレスト社を通じて、林業機械メーカーであるMalwa Forest社を買収しました。



## 世界初、超大型自動運転ダンプトラック累計導入台数1,000台を達成

鉱山向け無人ダンプトラック運行システム（AHS）を搭載した超大型自動運転ダンプトラックの累計導入台数が1,000台を達成しました。



<Nevada Gold Mines（米国）にて稼働するAHSダンプトラック(930E-5AT)>

## 参考情報リンク先

株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

中期経営計画

[https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2025/20250428\\_2](https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2025/20250428_2)

コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2025>

---

### 【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

---

コマツ 経営管理部

TEL: 03-6849-9725

FAX: 03-6849-9795

<https://www.komatsu.jp/ja>